

## 馬電菱の実会だより (No. 57)

## 菱の実会発足12年目の 新春を迎えて

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は寅年。馬電菱の実会が発足したのが昭和61年の卯年。すなわち「干支」で言えば今年でちょうどひとまわり(12年)することになります。



さて、去年は菱の実会の今までの行事に加えて、ボランティア活動(尾島町ピッコロ福祉作業所の作業応援)や、初心者講習会(囲碁講座)の開講などを行って見ましたが、いかがでしたでしょうか。

今年も会員の親睦と啓発のための行事を行い、皆様の充実した生活に寄与していきたいと思えます。そのためには馬電菱の実会の活動、行事に対する、会員の皆様からの提案、意見をどしどしお寄せ下さい。本年もよろしくお願い申し上げます。

98年1月 馬電菱の実会 役員一同

## 98 新年を迎えて

三菱電機労働組合群馬支部  
執行委員長 森田 茂

菱の実会の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆様とお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

菱の実会の活動は、会員の皆様の総力により、近年では会員数(97年末:144名)の増加とともに、活発に行事が展開されており衷心より敬意を表すものです。

ところで日本経済は、ご案内のように景気停滞が長引いており、去年は国が減びるといった騒動やら、政党の解党やら、政治も経済も三流になり下がってしまった感が強く思われます。

述懐すれば隆盛な時代をご承知の会員の方々には「何んと悠長な出来ごと」かと歯がゆい思いになられるかと存じますが、まさに八方ふさがりの今日であります。皆様方に負けないよう元気にガンバリたいと存じます。

さて今年も会員皆様のご健康と明るく活発な活動で前進されますようご祈念し、ご挨拶といたします。



## 新会員紹介

**上原 正義さん** (平成9年8月8日定年)

住所 太田市内ヶ島町 808-1 ☎0276-45-8925

昭和40年8月入社、警備を主眼とする保安係に入り、企業防衛一筋に責務の完遂に歩んできましたが、昭和59年10月、光ピックアップに配属になり自動機の操作等に専念し、63年4月に温水器係(小温)に配置転換となりました。

後年は24時間風呂の開発に伴い水圧検査に従事してきましたが、ここにめでたく終着を迎えることになりました。特に4年前頃、小集団活動において会社代表にご推挙いただき、男の花道に感動を与えてくれた馬電の皆さんに恩返しのできたこと、心嬉しく思います。

32年間健康で大過なく職務を全うできたのも、一重に諸先輩皆様方のあたたかいご支援とご指導のお蔭です。本当にありがとうございました。

退職後は老化防止の一環として村内の役を引き受けて、近隣の人たちとの心のふれ合いを大切に、余暇、会話の中から活路を見い出していく所存です。

このたび菱の実会に入会させていただきますが、まだ弱輩のため今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。文章整いませんが再会を楽しみに入会のご挨拶といたします。

**荒木 勲さん** (平成9年12月14日定年)

住所 尾島町堀口 1238-2 ☎0276-52-2697

昭和36年12月に入社し、6年間、アイロンの設計。その後7年間、品質保証や協力工場の指導。

昭和49年7月、本社へ転任し、各工場に対し製品安全規格等の指導。そして昭和52年4月、再度馬電に転任し、オーブンレンジ、石油瞬間湯沸器の拡販や、取扱説明書作成指導、包装技術、お客様窓口等種々経験をいたしました。

昭和58年1月再度本社へ転任し、5年間電算機およびシステムの拡販に当たっていましたが、昭和63年1月、北関東支社へ転任し、9年間官公庁等電算機の営業に従事し、このたび無事に36年間の会社生活を過ごすことができました。

顧みますと、36年間で17年間は単身赴任(土・日は自宅)で勤務できましたことは、一重に諸先輩をはじめ、皆様方の公私にわたるご指導を賜り心よりお礼を申し上げます。

退職後は健康に留意し、家族ならびに地域社会に貢献する所存です。

今回「菱の実会」に入会させていただきますが、今後ともご指導のほどよろしくお礼申し上げます。

**村松 晴雄さん** (平成9年12月15日定年)

住所 太田市新道町 1258-1 ☎0276-31-1634

昭和44年12月入社、業務課運輸係に配属になり、製品出荷業務を担当。その後昭和54年～56年、商品研修所。昭和56～57年、業務課第二計画G。昭和58年～平成6年、業務課研修G。平成6年～9年、菱電不動産佃群馬営業所へ出向し、国内ツーリスト業務、構内私送業務を担当。

思い出として、昭和48～49年、関西地方約3ヶ月、電子レンジの訪問販売はたいへんつらい業務でした。それから店頭販売・デラ展・内覧会・説明会等、ほぼ日本全国渡り歩きました。

平成7年5月より、菱電不動産にて「国内旅行業」を担当させられましたが、菱不佃群馬として新規開設でしたので、周りの関係者の方々にご迷惑をかけながら1年後にやっと軌道にのりました。

12月15日付定年退職しました。28年間大過なく勤務できましたことは、皆様のご指導の賜物であり心より感謝申し上げます。

このたび「菱の実会」に入会させていただきますが、今後ともご指導のほどよろしくお礼申し上げます。



会員投稿

## 走馬燈(1)

桐生市 穴原保二

## ◎はじめに(1)

事務局より突然の投稿要請があり最初戸惑いがありましたが、たまたま三菱電機の定年が近付いた頃から自分史を纏めようと思って書き始めたものがあつたので投稿する気になりました。

私たち、世間でよく言われる昭和一桁の人間は「明治、大正」の人たちの考えていることも理解できるし、また戦後生まれの人たちの考えていることも理解できてしまう。良く言えば「頭が良く、理解力のある昭和一桁人間」ということになり、悪く言えば「どうにも、掴みどころのない昭和一桁人間」ということで、世間一般では片付けているようだ。



このことを思い「昭和一桁人間」の一人として、私はこのような「育ち方、生き方」をしてきたのだということを残せたらと思いつつ、暇を探しては書き始めました。

書き始めると、なぜか「大東亜戦争」が始まった小学三年生ごろから、戦争末期の小学六年生の、あまりにも変化が大きく心に刻み込まれた頃から書き始めてしまいました。特に私は近所で評判の悪餓鬼で、母親には迷惑のかけ通しのため、母が「お前はついでに生まれてきたのだ」とよく言われた、私の一面を覗いてみていただければ幸いです。

昭和16年12月8日、「第二次世界大戦勃発」し、最初は戦争になっている実感はあまりなかった。ただ貯蓄の奨励が激しくなり、昭和18年8月頃からは隣組の大人たちが防空訓練を時々するようになってきた。学校でも学生服の配給制度や運動靴も買えなくなってきた。タバコも朝4時頃から兄弟で手分けして「タバコ屋」の前に並び、後から親たちが駆けつけようやく一箱買えるようになり、世の中がなんとなくオカシクなってきた。

昭和19年の春頃から、朝学校に行くと毎日1時間目の授業から、先生が必ず南洋方面でのわが軍の戦果およびソロモン海戦等を話すようになった。先生の話が、いつの日にか本土決戦があると言うようになってきた。信じられないかも知れないが「竹槍」で戦車に立ち向かおうと思っていたのだ。最近のテレビで見る「北朝鮮の小学生」も同じと思う。

5年生の時からブラスバンド部でトランペットを吹いていたので、海軍軍楽学校へ無試験で入学できる教育課程の修了書も持っていた。このため朝はトランペットを吹いて桐生駅まで出征兵送り、午後は桐生駅まで遺骨迎えに行く。1週間に送りは3回ほど、遺骨迎えは12月より1週間5回はあつた。6月に駅まで送った兵隊が12月には遺骨で帰ってくる人もいた。戦争の激しさがよくわかつた時期であつたようだ。

(つづく)

◆ おしらせ ◆

1. 1月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 1月26日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 2月のカラオケ月例会

- 日 時 2月2日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: ☎0276-31-7894)まで

3. 2月の「囲碁」入門講座

- 講座日 2月9日(月)・16日(月) 午前10時～11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

事務局から

1. 今回は菱の実会だよりとともに「菱風」No.223(1998.1号)を同封しました。定年退職をした会員の方々も、ときには会社の現在の状況や後輩たちの活動を知りたいと思うことがあるのではないのでしょうか。そんなことから「菱風」の同封を始めて1年になりましたが、如何でしょうか。
2. 1月のカラオケ月例会(1月12日)は、雪による悪天候のため初の中止となりました。2月にご期待のほどを。

おわび: 前号の第9回(秋季)グラウンドゴルフ大会の記事の中で、第7位およびホールインワン達成者名を長谷川哲男さんと記載しましたが、長谷川錦一さんの誤りでした。おわびするとともにあらためてお知らせいたします。

**編集後記** ● 1998年の新しい年を迎え、会員の皆さんも「今年こそは」と一年の計を立て、目標に向かって歩み出したことと思います。

- でもなかには、昨年暮れから忘年会や新年会で飲む機会が多く、不規則な生活を余儀なくされ、身体の疲れている人もいないかと思えます。
- そこで疲労解消のため、暖かい日には思い切って郊外に出て、散歩やハイキングなど楽しみながら身体を動かして健康促進をはかり、目標に対して頑張りましょう。
- なお利根グラウンドゴルフ場も何時でもお待ちしております。(戸谷)

発行 発行責任者 斎藤 慶蔵 三菱電機労働組合群馬支部  
 1998-1-12 No.57 編集「菱の実会だより」編集委員会 電話 0276-52-3874

# 馬電菱の実会だより (No. 58)

## 三菱電機群馬ボランティア会 にご入会を

### 4月から活動の予定(参加者を募集)

三菱電機群馬製作所では4月より、ボランティア活動を自主的に行おうとする、当社および構内関連会社に勤務するすべての個人ならびに当社退職者(いずれも家族を含む)によって「三菱電機群馬ボランティア会」が結成されることになりました。

ボランティアとは＝

自発的に、自由意志で活動すること、活動する人という意味です。ボランティア活動は、社会をよくしたり、自分自身が心豊かになり、生きがいとして行うものです。

「三菱電機群馬ボランティア会」でも、個人と企業のボランティア活動を自主的かつ組織的に行い、地域社会の健全な発展と個人の成長をめざすもので、本会に入会する者は年額1,000円を会費として払っていただくこととなります(なお会社も同額を拠出します)。

活動の内容をはじめ募集方法など、くわしいことは今月中に決まりますので、また来月号でお知らせします。その節は会員の皆さんも加入のほどよろしくお願い申し上げます。



### ◆ おしらせ (1) ◆

#### 久しぶりの 家族マス釣り大会 です

菱馬会釣り部主催の「家族マス釣り大会」が次のように行われます。ぜひご参加下さい。申し込みは3月16日(月)までに事務局へ。

- 会 場 大崎釣り堀所(勢多郡宮城村柏倉 ☎0272-83-4325)
- 日 時 平成9年3月29日(日) 午前9時30分までに現地集合
- 会 費 1家族 2,000円
- その他 ①釣ったマスはその場(食堂)で焼いて食べられます。  
②参加申込者には会場地図をはじめ、詳しいことを連絡いたします。

## 新会員紹介

**和田 光夫さん** (平成10年1月20日定年)

住所 新田町中江田 171-1

☎0276-56-2907

昭和34年10月、当時の菱電機器尾島工場に入社し、工作部表面処理関係に配属され、メッキ酸洗い作業を行っていました。その後、工程に移り、工数計算、部品管理、完成品を台車にて各工場への搬入作業をしていましたが、時の流れとともにメッキ工場は閉鎖され、二工場に移り、部品管理等の仕事をしていました。



また4年間、三菱電機北関東支社に昇降機関係で、特に埼玉北部、群馬地区を重点に活動をしていましたが、3年前から菱馬テクニカに移り、二工場の物流担当にあたっていました。

退職にあたり、39年間皆様のご指導とご協力を深く感謝し、お礼申し上げます。今回「菱の実会」に入会させていただき、今後ともよろしく願いいたします。

**小此木 光二さん** (平成10年1月20日定年)

住所 新田町木崎 112-5

☎0276-56-0512

昭和34年10月入社。菱電機器時代、工程管理、電熱器組立(サーモスタット)。群馬製作所時代、電熱器組立、MELCOM80(電子機器組立)、安全衛生管理を担当。昭和62年、初めて出向を命ぜられ、サンレイ工業にて工作ラインを担当。3年間の予定が9ヶ月で呼び戻され、本社ビル施設工事部安全課へ転勤を命ぜられ、単身赴任を経験する。



平成4年4月に菱電不動産㈱群馬営業所に出向。平成10年1月20日に定年退職を迎えることができました。

多種・多様なことを経験し、諸先輩をはじめとする数多くの皆さんに支えられながら、サラリーマン生活を健康で卒業できましたことは、公私にわたる皆さんのご指導の賜と厚くお礼申し上げます。

39年間で経験した苦しいこと、悲しいこと、うれしいことを楽しい思い出の宝として第二の人生へスタートします。

このたび「菱の実会」に入会させていただきますが、旧に倍するご指導のほどお願い申し上げます。

**森 正実さん**(75歳)ご逝去のお知らせ

昭和46年2月、馬電総務部長として着任し(その後副所長兼総務部長)、昭和52年2月、転籍された森 正実さんは1月29日(木)心不全で急逝されました。

なお2月2日(月)の葬儀には、会から弔電および花輪を供え、ご冥福を祈りました。

会員投稿

## 走馬燈(2)

桐生市 穴原保二

## ◎はじめに(2)

敗戦により世の中が「ひっくり返り」今まで使った教科書は、先生の読み上げるページを墨で消し込むため、役に立たない教科書になってしまった。新しい教科書もなく、新聞紙の大きさに印刷された数学等の教科書が4人に1枚配給になる。それを折ってハサミで切り使うのだ。人により持っている教科書が違うのである。これで勉強ができるわけがない。音楽の時間は先生が赤旗の歌を教える(聞け万国の労働者、である)。

この頃から私は学校へはあまり行かず「闇屋」の商売をしていた。東京へタバコや味噌を売りに行くのだ。電車に乗って行くのだが、途中で警察の検問にあうと全部巻き上げられる(食べられるものは売買禁止であった)。この他塩の買い出し、落花生、さつまいも、米、魚、タバコの葉、なんでも「買い出し」に行った。また売りにも行った。ヒロボン、拳銃、野球のバット、織物、干し柿、ノリ、魚。商売になる物はなんでも売買したこの時期が、私にとって一番変化があり、波乱万丈の毎日だった。

このような体験で今日の私があると思っている。

書くにあたり、様々なことが次々と浮かぶようになり「自分史」の題名を「走馬燈」とし書き始めたものを、今回は笑われるのを承知で一部分だけ投稿させていただきました。

## ◎空襲警報(1)

毎日毎日、米軍機による本土空襲が続き、学校に行くのも嫌になっていたある日の話(現代の登校拒否と似てる)。

今日もまた8時半頃、登校途中で空襲警報のサイレンがけたたましく鳴り出した。なぜか近頃、時々考えていた米軍による生品飛行場の爆撃が、この日はあるような気がした。約5kmの道程を学校に行かず、仲間3人を引き連れ、茶臼山へと急いだ。山に辿り着いて飛行場の見える松の木を探し、よじ登って待つこと1時間ほどすると、西の空赤城山方面にトンボのように小さいグラマン機が、まるで秋の空に雁が飛んで行くようにカギの手となり、1編隊5機で3編隊飛んでいるのが見えた。

不思議とこの時はキレイだなあと、米軍であることを忘れていた。ボヤとしてふと飛行場の方へ目を落とすと、日本兵が慌ただしく走って駐機してある戦闘機の方へ行くのが見えた。1機また1機と飛び立って行こうと、滑走路の方へ行くのが手に取るように見える。いよいよ空中戦になると思い、ワクワクするやら、怖くて身体が震えるやら、胸がドキドキし鳥肌が立ってきた。

2、3機飛び立った頃、西の空からグラマンの腹が銀色にキラリと光り、一気に飛行場を目がけて、ワシが空から獲物を狙う如く落ちて来るのが見えた(なにかわれわれ悪餓鬼どもを攻撃して来るように見えた)。松の木にしがみついて見ていると、すぐ頭の上をグラマンが横切っていく。見ると飛行機の中に2人乗って、こちらに手を振っているようにすら見えた。(つづく)

## ◆ おしらせ (2) ◆

## 1. 第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会

上記大会を次のように開きます。今月は大会ですから申し込みが必要です。

- 日 時 2月23日(月) 午前9時より
- 会 場 利根グラウンドゴルフ場
- 会 費 500円(当日徴収)
- 申 込 3月18日(水)までに事務局へ
- その他 ①賞品あり ②小雨決行、雨天順延

## 2. 3月のカラオケ月例会

- 日 時 3月2日(月) 午後5時より
- 会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: ☎0276-31-7894)まで

## 3. 3月の「囲碁」入門講座

- 講座日 3月9日(月)・16日(月) 午前10時～11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

## 事務局から 役員新年会を開催

1月21日(水)・22日(木)に、鬼怒川温泉「万葉亭」にて役員等の新年会を行いました。

当初、それぞれの自家用車に分乗していく計画でしたが、もし雪でも降ると車どうしの連絡が取りにくいし、事故でも起こしては困ります。そこで旅館からのマイクロバス(送迎は20名以上)に変更しようということになり、カラオケやグラウンドゴルフの愛好会メンバーにも声をかけて、参加者17名で実施しました。

結果は…。今年は新年早々から大雪となり、車の変更はバッチリ当り!

参加して下さった皆さんご苦労さまでした。

**編集後記** ●平成10年を迎え、あちこち新年会等に顔を出しているうちに、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。

●今年こそはと思いながら、あまり実行が伴わないのは凡人の常で、毎年のことですが、すこしでも前進をしたいと願うのも人のサダメでしょうか。

●「継続していることを充実させる」「新しいことに挑戦する」今年もまた、それぞれの課題に、元気でチャレンジいたしましょう。(伊 沢)

発 行 発行責任者 齋藤 慶蔵 三菱電機労働組合群馬支部  
1998-2-2 No.58 編集「菱の実会だより」編集委員会 電話 0276-52-3874

# 馬電菱の実会だより (No. 59)

4月22日(水)に  
平成10年度

## 菱の実会 総会・懇親会 を開催!

先日の幹事会において、第13回を迎える今年度の「馬電菱の実会」総会および懇親会を、4月22日(水)に行うことを決定しました。会員の皆様は万障お繰り合わせの上、ぜひご出席願います。

なお総会は例年のようにゲストホール、懇親会は昨年同様「東楊軒」で行いますが、昨年に比べ、総会の時間を20分増やし、1時間にしたので、懇親会の開始および終了時間も30分ほど遅くなります。当日の概要のスケジュールは次の通りです。

- |                |      |                |      |
|----------------|------|----------------|------|
| 1. 14:00~14:45 | 工場見学 | 3. 15:55~16:10 | 記念撮影 |
| 2. 14:50~15:50 | 総会   | 4. 16:30~18:30 | 懇親会  |

その他、会費(平成10年度会費、懇親会費)、当日の送迎方法、駐車場など昨年と同じですが、詳しい案内は「菱の実会だより 4月号」でお知らせします。

※注 総会に出席できない方で、年会費を「現金書留」などで送金してくれる方がありますが、こちらから5月号(または6月号)の菱の実会だよりに同封する「郵便振替用紙」で送金して下さい。(送金の手数料が70円で済みます)

## 会員募集

### 4月1日 三菱電機群馬ボランティア会 発足!

先月号の菱の実会だよりでお知らせしたように、いよいよ4月1日から「三菱電機群馬ボランティア会」(略称MGV)が発足します。

この会は“「地域社会に開かれた企業、地域社会に貢献する企業」への挑戦をめざして設立するもので、個人と企業のボランティア活動を自主的かつ組織的に行い、もって地域社会の健全な発展と個人の成長に資することを目的(規約より)”にしています。

最近の世の中は、物質面では豊かになったものの、心のふれ合いとか、互いに助け合う気持ちなどが薄れてきたように感じられます。相手に喜ばれ、そして自分の心も豊かになれば…。まずはそんな気持ちで入会してみてください。

なお入会者には、あらためて会の規約や年間予定行事表(現在検討中!)などをお送りしますが、その中からあなたの参加できる活動だけに参加して下さいれば結構です。(なお近隣の会員の方には、入会申込書を同封しましたが、入会できる方は、まずは事務局へ電話での申し込みも受け付けていますので、よろしく願います!)

会員投稿

## 走馬燈(3)

桐生市 穴原保二

## ◎空襲警報(2)

「グラマンの機銃掃射のはじまり、生まれて初めて見る戦争だ」飛行場の方を見ると、飛び立ち遅れた日本機めがけて、ダダ・ダと砂煙が一直線で走り、飛行機に近づくとポッと黒い煙と炎になり、日本軍の飛行機が燃えている。次々とグラマンが突っ込んできては舞い上がって行く。そのたびに日本軍の飛行機が燃え出す。

グラマンの操縦士にも機銃掃射のへたな者もいる。木の上から見ていると半分は飛行機に命中しない。この間長く感じたが、10分程度だったと思う。機銃掃射も終り、グラマンが西の空へ飛び上がり、また編隊を組んで南の方へ飛んでいってしまった。

グラマンが見えなくなった頃、日本軍の飛行機がどこからともなく、1機また1機と舞い降りてきた。空中戦をするために飛び立ったものと思っていたら、機銃掃射をされないために逃げ出した飛行機だった。

この時、日本は戦争に負けると子供ながらに確信した。

家に帰り、母に今日の出来事を話すと「今日見てきたこと、戦争に負けるなど絶対に学校や他人に話してはいけない」と言われた。もし話したことがわかると憲兵に親が連行されるのだ。でも、ついこの話をある1人の学校の先生にしたところ、目を輝かしてよく話を聞いてくれた。叱られると思ったら叱られずに済んだ。

その先生も今は亡き人となってしまった。



## ◎松飾り

昭和17年元旦の朝、5時頃目が覚めた。布団から出るのは寒くて大変だ。でも身震いしながら布団から出て、綿の学生服をきて、その上に兄貴のお下がりのオーバー(従兄弟のお下がりである)を羽織り、足袋を履き、下駄履きで家を出た。持物は米の一斗袋1枚である。

母に見つからないように、そっと勝手口から表に出た。外はまだ真っ暗闇だ。この季節でも私のような一般家庭の子供は、手袋など買って貰えない。だから鼻水が出ても手の甲でこすするため、ほとんどの子供は手にヒビやアカギレを切らしていた。

オーバーのポケットに手を入れ、襟を立てて集合場所に向かった。寒さのあまり身震いがし、歯も良く合わずガタガタ震えながら急いだ。まだ朝も早いので、凍りついた道を下駄履きで歩くのは大変だ。

集合場所に着くと今日のリーダー、朝鮮人のシノ(名前である)が、みんな集まれと指示する。独特の朝鮮語と日本語とのチャンポンで実行計画を説明し、いよいよ出発である。

今日の子定は、松飾りに付いているミカンを、1町内全部外してしまうのである。いささか、いくら悪餓鬼の俺でも、今日のイタズラはあまり気が進まない。しかし同じ悪餓鬼仲間、気おくれするわけにもいかず、どうにでもなれの気持ちで出発した。

考えてなくても、正月用松飾りのミカンを盗むのは誰が聞いてもまずいし、神様・仏様もきっと怒るはずである。こんな悪いことはさすがの俺も生まれて始めてだ。

目的の町内に着いた。打ち合せどうり身長の高い者が小さい者を肩ぐるまにして、各家の玄関にある松飾りのミカンを外し、下にいる者は米袋の中にミカンを詰め、このような手口は悪餓鬼グループには簡単なやり口だ。それでも1町内約50軒も盗るのは大変であった。音のしないように、そっと竹串に刺してあるミカンを荒縄から串ごと外し、下にいる受けとり役に落とす。受けとり役は受けとったミカンから、竹串を抜き取り、米袋にミカンだけ入れる。

今の時代と違い、犬を飼っている家は幸いなことに1軒もなかった。当時のミカンは大きく、今の倍ほどの大きさはあった。かれこれ米袋2杯になったので、リーダーの指示でこれで止めることにした。打ち合せ通りの場所に一時隠すこととし、ひとまず解散し、朝10時に渡良瀬川の河原に集合することになった。

予定時刻に渡良瀬川河原に集合し、ミカンも2袋届いた。このミカンをどう処分するのか各人の言い分があり、なかなかまとまらなかった。

最後に決ったのはミカンの遠投であった。ミカンの遠投と言っても、2袋も川に投げるのは大変であった。あんなに苦勞して盗ったのに、全部川に投げ入れたのである。なんとバカげたことだろう。

でもこの時はなぜかいい気持ちだった。当時ミカンを食べたくて盗ったのではなく、今考えてみれば、たんなるイタズラなのだ。現代ならば新聞沙汰だろう。

この時のリーダー、朝鮮人「シノ君」は、終戦後韓国へ引き揚げて行ってしまった。最近わかったことだが韓国で大学教授をしているそうだ。(つづく)



### カラオケ愛好会から、参加費値上げの「お知らせ」

カラオケ愛好会は、発足当時から参加費1人あたり2,000円で開いてきましたが、いままでの飲物・食べ物の質と量を維持していくのが、だんだん難しくなってきました。そして予備費も少なくなってきました。

そこでカラオケ愛好会役員および菱の実会幹事会にて打ち合せの結果、やむを得ず平成10年3月より参加費を1人あたり2,500円に値上げすることになりました。ご了承いただくとともに、今後もより一層の参加をお願い申し上げます。

◆ おしらせ (2) ◆

1. 3月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 3月30日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 4月のカラオケ月例会

- 日 時 4月6日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: ☎0276-31-7894)まで

3. 3月の「囲碁」入門講座 →会場変更のお知らせ

- 講座日 3月9日(月)・16日(月) 午前10時～11時30分
  - 会 場 (旧)体育館 余暇開発室 →(新)研修センター1教室A
- ※3月中は社員の定期健康診断を体育館で実施するため

第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会

優勝 **高井 宏**さん                      準優勝 **滝 亀三郎**さん  
 (ハンディキャップ1を加えてスコア59)                      (ハンディキャップ5を加えてスコア60)

第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会は、2月23日(月)、好天の中、利根グラウンドゴルフ場で開きました。

当日の参加者は過去タイ記録の29名。スコアもレベルが高く、アンダースコアが15名と参加者の半数を越えました。

また滝亀三郎さん、根岸佳代子さん、初参加の小此木光二さんが、それぞれホールワンインを2本ずつ、そしてホールワンイン1本は白井敬郎さん、伊沢昭一郎さん、斎藤慶蔵さん、高井宏さんでした。

編集後記 ● 16日間にわたった冬の祭典、長野五輪も無事に閉幕しました。

● 日本選手もよく健闘し、期待以上の感動的な活躍で、ともすれば暗いニュースの多い今日この頃に、明るい話題と活力を与えてくれました。そして友好と平和の尊さをしみじみと感じさせてくれました。

● まだまだ寒い日々ですが、適度な運動で健康保持に励みましょう。(永 沼)

**馬電菱の実会だより** (No. 60)**4月22日(水)に****菱の実会 総会・懇親会 を開催!****参加申し込みは 4月16日(木)までに**

前号(No.59)でも予告しましたが、平成10年度の(第13回)馬電菱の実会総会および懇親会を4月22日(木)午後2時から開きます。

これは菱の実会における、年に1回の大イベントです。会員の皆様は万障繰り合わせの上、ぜひ参加下さるようお願い申し上げます。

開催の詳細は同封の「第13回馬電菱の実会総会のご案内」をご覧ください。なお当日のスケジュールのみ、以下にお知らせします。

14:00~14:45 馬電 工場見学(集合:ゲストホール101へ13:50までに)  
14:50~15:50 総会(ゲストホール101)  
15:55~16:10 記念撮影(正門 ロータリー前)  
16:30~18:30 懇親会(東楊軒)

なお参加可否については、同封のはがきにて4月16日(木)までに返答願います。

150名(菱の実会員19名)の登録者で

**三菱電機群馬ボランティア会 発足!**

4月20日(月) 午後5時15分から

ゲストホール101 で「**発会セレモニー**」を举行

4月1日、「三菱電機群馬ボランティア会」(略称MGV)が発足しました。

「発会セレモニー」が4月20日(月)と先になりますが、当日は菱の実会員の登録者もぜひご出席ください。

なお今年度のボランティアメニューは9件です(次ページ参照)。ぜひ皆さんの年間計画の中に織り込んで下さい。MGV登録者は少なくとも年間1件以上の参加を目標にしていますので、よろしくお願いします。

早速今月募集のボランティア2件について、次ページで紹介いたします。このうちMGV主催「尾島町びっころ福祉作業所」の作業応援は、月曜日~木曜日と平日の午後1時~3時ですから、実際のところ菱の実会の登録者をお願いすることになりますので、未登録者でも都合のつく人はご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 三菱電機群馬ボランティア会 平成10年度 ボランティア行事 決まる

今年度のボランティアメニューが、下表のように決まりました。

具体的な内容などについては、今後募集の都度お知らせしますが、参加の申し込みや詳しく知りたい人は事務局（☎0276-52-3874）まで連絡願います。

	メニュー	内 容	日 時	集合場所	申 込
№1	尾島町河川清掃	利根川上流河川一斉クリーン作戦	4月19日(日) AM6:00~1時間	新上武大橋下	4月15日(水)までに事務局へ
№2	MGV作業応援	文房具等の箱詰め作業応援 (月曜~木曜の間)	5/11~21 10/12~22 午後1時~3時	びっころ福祉作業所	事前に事務局へ
№3	MGV樹木剪定	町道の樹木剪定 (菱技会主体で実施します)	6月 (日時未定)	労組北広場	別途
№4	MGV 老人宅除草	町内寝たきり老人宅の除草 (菱技会主体で実施します)	6、8、9月	同上	同上
№5	MGV除草	びっころ福祉作業所の除草	6、8、9月の第一 土曜 9時~11時	びっころ福祉作業所	事前に事務局へ
№6	太田市金山清掃	連合が実施する「列島クリーン」の一環としての清掃	9/6(日) 8時~11時半	大光院境内	事前に事務局へ
№7	太田市市民サポートの登録	太田市制50周年各種イベントの運営支援	未定	未定	4月29日(水)迄に事務局へ
№8	太田市FM放送の運営	番組の企画製作、情報収集、出演等	未定	未定	事務局または放送設立準備委員会へTEL 45-8181
№9	MGV航空ページの送迎	木崎駅から会場までを車で送迎	11/3 8時~16時	総務フロア	事前に事務局へ
№10	太田市新年実業団駅伝サポート	ニューイヤ-駅伝の交通整理	99-1-1 (時間未定)	未定	事前に事務局へ

### 📣 今月のボランティア募集 📣

#### 1. 「河川清掃ボランティア」 尾島町主催

日 時 平成10年4月19日(日) 午前6時までに新上武大橋の下へ集合  
内 容 利根川河川敷の可燃ごみや空缶拾い(約1時間)

#### 2. 「尾島町びっころ福祉作業所」 MGV主催

日 時 5月11日~14日および18日~21日(8日間)  
集 合 尾島町びっころ福祉作業所  
内 容 作業応援(午後1時~3時)〈1日あたり2~3名の参加を予定〉

会員投稿

## 走馬燈(4)

桐生市 穴原保二

## ◎ブラスバンド

私の家の前の宇敷さんの叔父さんが軍隊ラッパを持っていて、時々貸してもらい吹いていた。確か小学校4年生の頃だったような気がする。このことが後で私の人生に大きく係わることになるとは思わず、時々ラッパを借りては吹いていた。

近所の大人にラッパが吹ける人がいて、時々軍隊ラッパのメロディを教えてもらった。進軍ラッパ、起床ラッパ、就寝ラッパ、いろいろ吹いてもらい、それを耳で聞いて覚えるのが一苦勞だったのを今でも覚えている。

第二次世界大戦がだんだん激しくなった小学校5年生の5月初夏の頃、学校内にブラスバンドができる噂を耳にした。私も聞き流していたある日の午後、同級生の誰だったか思い出せないが、教室に走り込んできて「今、ブラスバンド部員を探している」と言われ、どのようなことをするのかとフラリとテスト教室に行った。

先生が一人一人トランペットを吹かせ、音が出なくてもやる気のある人は管楽器以外の小太鼓、大太鼓、シンバル、タンバリン等に組み分けしていた。私もトランペットを吹かせてもらった。当然のことながら自分でもびっくりするほど良い音が出た。先生は「おい穴原、おまえはトランペットを吹け」と言われた。考えて返事をしないしていると「何を考えているのだ」と一喝され、否応なくブラスバンドに入れられてしまった。

もうひとつ私なりの理由をつければ、ブラスバンドに入れば当時ではあまり見られなくなったオヤツが出るのだ。婦人会の叔母さんたちが持ち寄ったジャガイモをゆでて出してくれる。またゼリー状の甘い角型の菓子を出してくれた。ジャガイモ等はこの頃とても庶民には入手できなくなり、ましてやゼリー状の甘い角型の菓子など入手できる等とても考えにくい時期に貰えるのは何よりの魅力だった。このようにして、私とトランペットの係わり合いが始まったのは私の食い意地が人一倍あったからだろう。

初めのうちは練習もあまりつらくなかったが、戦禍が激しくなるに従い、戦場に青年が徴兵され出征する人が増えてきた頃から、激しい練習の明け暮れとなってきた。太鼓を叩く人は明けても暮れても机の蓋をカタ、カタと叩いていた。小学校5年生で一挙に上手になるはずもなく、毎日夜の7時過ぎまで猛練習が続き、この時私は大変なものを始めてしまったと思ったが後の祭りだ。

練習も日増しにきつくなり、トランペットを吹いている私も例外でない。時には唇や歯ぐきから出血することもあった。これがもとで私はちょうど歯が痛んだときも歯医者も行けず治療せずいたら、とうとう八重歯ができてしまった。でも当時は歯が痛いなどとても先生に言えず辛い日々が続いたけれど、八重歯のお蔭でトランペットのマウスピースがぴたりと唇に合い、トランペットを歩きながら吹く場合吹きやすくなり、あとあと楽をしたのである。

トランペットや太鼓、クラリネット、トロンボーン、大バス、 (次ページへ)

(前ページから) 小バス、コルネット等、みんながそれぞれ練習に励んでいたが、やがて練習だけでは飽きた頃、私がみんなを集め軍艦マーチを演奏しようと提案し、先生に内緒で演奏を始めたが、軍艦マーチ演奏どころか全然曲にならず、ただプカブカ吹いているだけでうるさいだけだった。たちまち先生に見つかり、提案者の私が大目玉を食うことになってしまった。

でもこのことで私たちは練習曲だけでなく軍歌を演奏することが早くなり、みんないままで以上に練習に励むようになり、結構楽しい練習時間となったのである。(終)

◆ おしらせ ◆

1. 4月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 4月27日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 5月のカラオケ月例会

- 日 時 5月11日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: ☎0276-31-7894)まで

3. 4月の「囲碁」入門講座

- 講座日 4月13日(月)・20日(月) 午前10時～11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

4. 5月の幹事会

- 日 時 5月11日(月) 午後4時より ●会 場 組合 会議室

編集後記 ● さくらの花とともに新しい年度を迎えました。当分は初々しい小・中学生をはじめ、学生や新社会人が目につきそうです。

● 馬電菱の実会でも、4月22日の総会・懇親会に向かって大勢の会員の皆さんに参加いただきたく、役員一同着々準備中といったところですが、まずは同封した返信用はがきを早めに投函願います。

● 穴原さんの「走馬燈」の原稿はもっと長いのですが、今月号で一応終了にさせていただきます。愛読ありがとうございます。(下山)

発行

発行責任者 斎藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

1998-4-6 No.60

編集「菱の実会だより」編集委員会

電話 0276-52-3874

# 群馬菱の実会だより (No. 61)

標題のように、今年度から「群馬菱の実会」に改称！

## 4月22日(水) 第13回(平成10年度)総会を開催

「馬電菱の実会」の名称では最後となった第13回総会は、4月22日(水)に所内ゲストホールにて、来賓として森田執行委員長、小林馬電所長をお迎えし、会員90名の参加のもとで開催しました。

今年度の総会では、役員改選をはじめ、新年度行事・予算など原案の通り決まりました。

決まったことの詳しい内容は「平成10年度総会のしおり」に記載しま



したので、参照下さい。

会員の皆様には、今年もまたどしどし行事に参加下さるよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(年ごとに増加する会員で、今年の記念撮影は、ご覧のように2回に分けました)

### 今年も懇親会は「東楊軒」で開宴

総会、記念撮影に引き続き、懇親会は会場を東楊軒に移して開催。例年のように労組からは執行委員長以下執行委員全員、会社からは、所長、センター長を始め全部長を招待し開催しました。開宴中は会員同士の談笑で多いに盛り上がりました。

また遠方からの出席者は、普段は年間行事になかなか参加できないので、この時とばかりにお互いに旧交をあたため合いました。

### ★平成10年度の会費納入のお願い★

平成10年度の会費は、総会・懇親会に参加した会員の方は当日徴収させていただきましたが、参加できなかった会員で会費未納の方には、今月号「群馬菱の実会だより」とともに払込票を同封しましたので、郵便局から送金下さるようお願いいたします。(なお、申し訳ありませんが手数料[70円]についてもご負担願います。)

## 新会員紹介

桑内 <sup>へのる</sup> 敦さん (平成10年3月31日定年)  
住所 新田町木崎 106-2 ☎0276-56-0451

昭和36年4月、当尾島工場に入社。品質管理課に配属され、各種プラスチック類、コード類、絶縁材料等の材料試験を7年ほど担当。次に塗装・めっき工場の表面処理係を担当しました。

その頃、カドミウム等の公害問題が身近な社会問題となり、昭和46年1月より環境保全担当として公害関係に携わりました。いろいろな試料の分析、調査、測定や公害対策、対応、各種法律の勉強等、今では非常に参考になったと思っています。

平成10年3月26・27日のISO 14001環境監査も無事に完了し、最後の思い出となりました。

37年間の会社生活を大過なく過ごせたのも、皆様のご協力、ご指導、ご努力のおかげと感謝しています。

今度「菱の実会」に入会させていただきますが、より以上のご指導のほどお願い申し上げます。



千葉 武さん (平成10年3月31日定年)  
住所 尾島町粕川 12-8 ☎0276-52-3944

去る3月31日付にて本社特機営業部を定年退職。このたび「菱の実会」の仲間に加えさせていただくことになりました。

昭和34年4月菱電機器㈱入社。特電係に配属、以来これまで39年間の勤務を終りました。

この間、馬電をベースに、新潟に3年、北海道と大阪に各1年、住設品営業で勤務。そして平成元年4月、東京特機営業所へ転任。

以来9年間OEMビジネスを主体に東京勤務をしまりました。

人生の第4コーナーにさしかかり、「健康で楽しく」をモットーに過ごしていきたいと思えます。

どうぞ諸先輩のご指導ご交誼賜りますようよろしくお願い申し上げます。



津久井 <sup>とふる</sup> 達さん (平成10年3月31日定年)  
住所 伊勢崎市上諏訪町 2121-32 ☎0270-25-7773

昭和43年8月入社。工務係において機械保全、省エネルギー関係等に11年従事。馬電環境整備業務の菱電不動産移管に伴い出向。上記および社内分譲、安全物資など6年間担当後、短期に設備、温水器、除湿機、部工に配転。エバボレータ、モータ生産を8年間行い、三菱電機30年の幕となりました。

在社中は私自身のわがままから迷ってばかりいて、皆様には多大なご迷惑をおかけしたにもかかわらず、人並に定年まで勤めることができたのは、諸先輩の並々ならぬご指導とご支援の賜と心より深く感謝申し上げます。

今後はまず生年月日を返上し、精神年齢に置きかえスタートしたいと思います。そしていまだにつかみ得ぬ実像を、40年間やってきた趣味の盆栽作りの中から見出すべく一層の努力を重ねて、毎年2月の上野美術館における国風盆栽展(過去3回入選)に新木10年生未満を自らの手で作り上げ、入選させることを楽しみとしたい。

また新たな挑戦として、海外に目を向けて、このところ盛んになっているヨーロッパ数ヶ国(フランス、ベルギー、スペイン、スイス、イタリアにルートができた)に単身年3~4回(1ヶ月単位)滞在して、盆栽の技術指導、育成を生涯の仕事としたい。言葉のハンディの不安はありますが、まず



実行で、手はじめに6月にベルギーを予定しています。

このたび菱の実会に入会させていただいたものの、行事に参加する機会は少ないと思っておりますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 東條 孝雄さん (平成10年3月31日定年)

住所 市川市市川4-4-17-806 ☎047-371-2735

昭和35年4月、操業間もない菱電機器(株)に入社し、生産技術係配属となりました。尾島町のどこからでも見える工場の煙突には電気釜と掃除機の文字広告が大きく書かれ、これこそが当時あこがれの家電品であったと思ひ起こされます。

やがて電気釜はジャー炊飯器に変わり、深夜電力温水器が生産に加わる、さらに石油ストーブはファンヒータに変わるなど、機種の変遷と規模の拡大に合わせて、工場建設と合理化投資を担当しました。

三菱電機ホーム機器の前身である菱電埼玉でジャー炊飯器の量産を手掛けたあと、洗濯機をつくる日本建鉄(株)に出向しました。

後に同社がプラスチック成形の内作を始めたときは、馬電に技術指導をお願いし、また実習生も引き受けていただくなど、多くのご支援で成功したと感謝しております。



### 森尻 武雄さん (平成10年4月20日定年)

住所 太田市台之郷町 703-6 ☎0276-46-3094

昭和38年、菱電機器と三菱電機が合併して、18番目の製作所としてスタートした年の10月に入社。購買課資材管理係に配属され、以来約35年。所属は9回変わりましたが、途中2年間以外は、一貫してクリーナ、ジャー炊、ふとん乾燥機、石油ファンヒータなどの、部材の手配、進捗を担当してきました。

平成10年4月20日、健康で無事に定年退職を迎えることができましたのは、諸先輩をはじめ、数多くの仲間の皆様方のご指導の賜と厚くお礼申し上げます。

今後は、地域社会に恩返しをして、楽しく有意義な第二の人生を送る努力をしてみたいと思います。

このたび「菱の実会」に入会させていただきますが、旧に倍するご指導のほどお願い申し上げます。



### 町田 孝志さん (平成10年4月20日定年)

住所 太田市下田島町 557-2 ☎0276-31-0219

昭和36年12月、菱電機器に入社し、工作課プレス係に配属になり、当時はクリーナ、ミキサなどの板金部品の加工をしました。その後プレス系のスタッフとなり、協力工場のプレス作業の指導および新製品の金型の試押立ち合いを担当。55年10月、温水器係に移り、350トプレスでケース加工の作業をしました。

その後、改善マン、プラント委員を経験した後、またプレス作業に戻り、今度は500トプレスを担当し、平成10年4月20日定年を迎えることができました。

退職にあたり、37年間という長いサラリーマン生活を無事終ることができましたことは、皆様のご指導とご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

今回、「菱の実会」に入会させていただきますが、今後ともよろしくお願いいたします。



## ◆ おしらせ ◆

1. 第11回(春季)グラウンドゴルフ大会

上記大会を次のように開きます。今月は大会ですから申し込みが必要です。

- 日 時 5月25日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- 会 費 500円(当日徴収) ●申 込 5/21(木)までに事務局へ
- その他 ①賞品あり ②小雨決行、雨天順延

2. 6月のカラオケ月例会

- 日 時 6月1日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 5月の「囲碁」入門講座

- 講座日 5月18日(月) 午前10時～11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

4. 6月の幹事会

- 日 時 6月1日(月) 午後4時より ●会 場 組合 会議室

5. トピックス

(1)上毛新聞に掲載される「上毛特選碁」欄に、4月13日から19日まで伊沢昭一郎さんの対戦記が掲載されました。(その一部を来月号で紹介できるか?)

(2)わが三菱電機労組で書記をしている矢島章子さんは、去る4月10日、三田 祐(あゆ)さんと結婚、「三田章子」さんとなりました。

**編 集 後 記** ● 暦の上では立夏を迎え、周囲の山々は新緑に覆われ、あちこちで色とりどりの美しい花が咲き乱れ、行楽客の目を楽しませてくれました。

● そんな季節も終って暑い夏がやってきます。そこで利根グラウンドゴルフ場で毎月1回体力づくりの一環としてグラウンドゴルフを行っています。皆様の参加をお待ちしています。

● 今年度の総会で群馬菱の実会と名称が変わったので、この会報名も今月号から「群馬菱の実会だより」となりました。引き続きご愛読のほどを。 (戸 谷)

発 行

発行責任者 斎藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

1998-5-11 No.61

編集「菱の実会だより」編集委員会

電話 0276-52-3874

# 群馬菱の実会だより (No. 62)

5月25日(月) 第11回(春季)グラウンドゴルフ大会 を開く

平成10年度を迎え最初の大会となった、第11回(春季)グラウンドゴルフ大会は30名の参加者を得て、好天かつ新緑の5月25日(月)、利根グラウンドゴルフ場で行いました。

常日頃からプレイを楽しんでいる会員が多いためか、今回もスコア面ではかなりレベルの高い大会となりました(パー72でも17位でした)。



だからホールインワ



ンが出ないと上位入賞がむずかしいほどで、今回のホールインワンは上位3位までと5位に入賞した村川 忍さんが各1本ずつと計4本出ました。(いつもより少なかった?)

でもプレイは和気あいあいの中で進み、優勝 権田英夫さん、準優勝 根岸利喜蔵さん、3位 田部井元保さん。

スコアはそれぞれ、66、66、67、ちなみにブービースコアは84でした(いずれもハンデキャップを含む)。

→優勝した権田英夫さん

MGVだより

## 尾島町びっころ福祉作業所へ作業応援ボランティアに

さる5月11日から21日まで(7日間)、菱の実会会員を中心とした20名の参加者により、尾島町びっころ福祉作業所へ春の作業応援に行ってきました。

参加して下さった会員の皆さん、たいへんご苦労さまでした。

参加者募集中!

◀ 6月のボランティア活動は ▶

1. 尾島町びっころ福祉作業所の庭の除草作業 6月6日(土) 午前9時より
2. 尾島町一人暮らし老人宅の庭の除草作業 6月27日(土) 午前9時より

作業時間はいずれも2~3時間の予定です。くわしく知りたい方、参加してみたい方は事務局までお問い合わせください。

## 新会員紹介

中村 富家さん (平成10年3月31日定年)

住所 松戸市新松戸 6-70 サンライトパストラル 2-D-202

☎047-345-1430

昭和35年4月に創立間もない菱電機器に入社以来、群馬製作所に17年間(暖房器設計、品質管理等に従事)。昭和52年4月、本社に転勤し21年間(商本、住環本、この内に家電製品協会に3年間出向)と38年間の長きに亘る会社生活を、つつがなく過ごすことができました。

特に、本社在職中には業界活動を通じ、社内外のあまたの人と接する機会を得たことは何よりの大きな財産と思っております。これも偏に皆様方のあたたかいご指導とご厚情の賜物と厚くお礼申し上げます。

今後は自然界に目を向けるなどして、潤いのある生き方を模索してまいりたいと思います。

このたび「菱の実会」に入会させていただきましたが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



根岸 昇さん (平成10年5月20日定年)

住所 尾島町世良田 1371-3

☎0276-52-2736

去る5月20日付をもちまして定年を迎え、伝統ある菱の実会に入会させていただくことになりました。よろしくお願いたします。

昭和34年、菱電機器に業歴一期として入社以来、特殊電熱器工場、小形温水器、電子レンジの移管、中形温水器等々の生産現場の第一線を経験し、九州支社、協力会社の三芳製作所への出向と、会社の末席をけがさせていただき、大過なくその任務を果たすことができましたのも、皆様方のご指導とご支援の賜と心より感謝申し上げます。

これからは人生80年とし、新しい生活をスタートするわけでございますが、日々を大いに意欲を燃やし、健康に留意し、充実した第二の人生を送りたいと考えております。

今後とも、よろしくご指導と、ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



佐藤 勇さん (平成9年3月31日定年)

住所 新田町木崎 1198-6

☎0276-56-2368

昭和34年、地元採用が原則のところへ、異端児として秋田の山奥から出てきました。

2年余りの下宿生活から独身寮にもぐり込みました。山奥(本当は横手盆地の真中)の農家ですからトイレ(本当は便所)は〇〇(直下)式、下宿でも当時は〇〇式でしたので、独身寮の水洗式トイレに感激したのを覚えています。

仕事では資材部門が一番長くトータルで25年。営業、市場技、出向(菱馬テクニカ、菱電印刷)等経験しました。その間本社プラント建設部で5年余り人並みに単身赴任もやってきました。家電しか知らない私が直径20mmのケーブルの査定をさせられて目を廻しました。

生まれ育った地、下宿、独身寮、職場の異動、取引先等、色々な方々の出会い、ご指導が今の私を築いてくれたと感謝しています。

今後はますます健康に留意し、生涯現役のつもりで有意義な人生を送りたいと思います。

このたび菱の実会入会で、ふたたび諸先輩方との出会い、交流ができますこと楽しみです。さらなるご指導のほどよろしくお願いたします。



### 囲碁入門講座・第2期生募集

昨年6月にスタートした頭記講座は約1年が経過し、1期生3名(加村、真下、増田さん)がまったく知らない段階から、現在10級前後に達し、いわゆる打てるようになりました。

ついては、下記の通り第2期生を募集しますので、この機会に覚えたいと思っっている方々の参加をお待ちしています。

1. 期間 約1年

2. 日時 月1~2回: 毎月第2または第3月曜日の午前9時半~11時

3. 場所 馬電 体育館内 余暇開発室

4. 講師 伊沢昭一郎さん

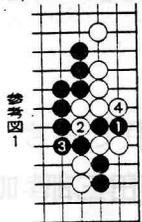
5. 申込 6月末までに事務局へお申し込み下さい。

### トピックス

### 伊沢さん「上毛特選碁」で奮闘す!

郷土の新聞「上毛新聞」に、シリーズで掲載される「上毛特選碁」。先月号でお知らせしましたが、4月13日から19日までの同紙に、本会の囲碁講座の講師を務める伊沢昭一郎さんの対戦記が掲載されました。

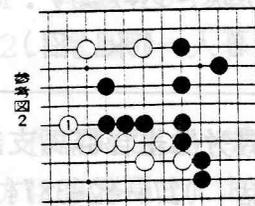
そこでこの中から、伊沢さんのプロフィールを紹介した15日付のみの同紙記事を切り抜き、縮小したコピーを下欄に紹介いたします。



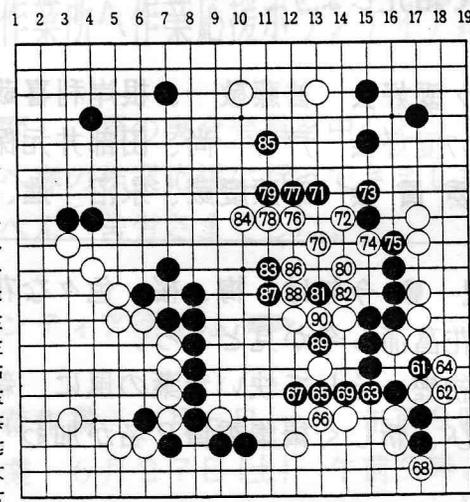
伊沢昭一郎さん

**白の大石危うし**  
伊沢さんは、一九三三年生まれの六十四歳。二十二歳の時に入門書で囲碁を覚え、その後先輩から指導を受けた。また、地方棋士の米山五段から個人指導を受けたのが大いにプラスになったとのこと。

参考図1  
黒61とアテただけで63と  
善風はバフフルな善で、終始力押しする組んずほべつ々の善が好きのようである。本局も、二転三転とスリル満点で、手に汗流る場面がたびたびあった。



参考図2  
▲観戦記 加悦 正昭



▽第3譜(61~90)

九〇年ごろ、日本棋院から二段を取った。現在は、新田町囲碁クラブに所属している。一九五二年から四十年余三菱電機一筋に勤め上げられた。その間、総務畑が長かった。現在は、退職社員の会である「菱の実会」の副会長を務めている。転動で群馬製作所に来られたのは六七年といふから、この地に約二十年間在住され、とうかりと根をなされた。九四年、定年退職し以後は囲碁のほかには将棋、マージャンなど、落又自適の毎日を送っておられる。

白66は67からもつてきた。白66は67からもつてきた。白66は67からもつてきた。白66は67からもつてきた。

## 上毛特選碁

白三段格 栗原 章二(尾島)  
黒二段格 伊沢昭一郎(尾島)  
(定先・コミなし)

打つ、隅は捨て中央の攻めに狙いを絞った。隅は捨てるにしても、参考図1のようになり、ここで捨て、味を残しておく方がよかったです。

黒65のツケコから、伊沢さん得意の猛烈な攻めが始まった。黒の厚みの中で、戦いであり、伊沢さんの攻めのパターンには、はまってきた。心なしか、伊沢さんは積気満々、一方の栗原さんはやや意気消沈気味に見

◆ おしらせ ◆

1. 6月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 6月22日(月) 午前9時より
- 会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 7月のカラオケ月例会

- 日 時 7月6日(月) 午後5時より
- 会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 6月の「囲碁」入門講座

- 講座日 6月8日(月)・15日(月) 午前10時～11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

4. 次回の幹事会・編集委員会(会場 組合会議室)

- 幹 事 会 7月 6日(月) 午後 4時より
- 編 集 委 員 会 6月15日(月) 午前11時より

中元特別分議について

恒例の中元特別分議は

6月11日(木)

12日(金)

ゲストホールにて

5. 愛好会等の新役員紹介

今年度は役員改選の年でしたが、それとともに愛好会等の役員も一部変更になりましたので紹介します。

- カラオケ愛好会 首藤敬一、根岸利喜蔵、斎藤貞子
- グラウンドゴルフ愛好会 戸谷 尚、田部井元保、沢村政雄、小此木光二
- 編 集 委 員 会 斎藤慶蔵、永沼 進、伊沢昭一郎、長谷川哲男、増田三郎

編 集 後 記 ● 今年、梅、桜、色々な花ばなが、例年より10日ほど早く咲き始め、草月、花菖蒲も今が見どころ。

不如帰、初鯉、そして快い青葉の風に、新茶の美味しい季節になりました。

● このたび、新しく編集委員2名が加わりました。爽やかな風が吹き込みます。ご期待下さい。(永 沼)

# 群馬菱の実会だより (No. 63)

## ボランティア活動進行中！！

4月に発足した三菱電機群馬ボランティア会(MGV)の活動も、いよいよ順調に進み始めました。



6月27日(土)には、菱の実会員にも参加していただき、初の試みである町内のひとり暮らし老人宅の樹木の枝下ろし作業に取り組みました。

ひとり暮らしの老人には、普段なかなかできない仕事ですから大変喜ばれました。次回(下記)も参加のほど、よろしくお願ひいたします。

### 参加者募集中！

### 7月・8月のボランティア活動は

- |                        |          |        |
|------------------------|----------|--------|
| 1. 岩松地区石田川の草刈り、ごみ拾い作業  | 7月11日(土) | 午前6時より |
| 2. 尾島町一人暮らし老人宅樹木の枝下し作業 | 8月1日(土)  | 午前9時より |

作業時間はいずれも1～2時間の予定です。くわしく知りたい方、参加してみたい方は事務局までお問い合わせください。

### 新会員紹介

**小林 安男さん** (平成10年6月20日定年)

住所 太田市由良町 698-1

☎0276-31-5215

昭和34年6月、菱電機器に業歴、機械工として入社以来、試作関係、仕組、外注技術、金型製作等を経て、昭和60年6月、三菱電機ホーム機器に出向。試作品の製作と金型製作部門の立ち上げに携わり、さらに協力会社の新井機械製作所、木屋製作所に出向、多くの人と、新しい技術との出会い等、貴重な体験をさせていただきました。

また、その業務を大過なく遂行できたのも皆様方のご指導、ご協力の賜と、心より感謝申し上げます。

これからは、今以上に健康な身体作りを心がけ、趣味を通じての、第二の人生を充実したものにしていきたいと考えております。

このたびは「菱の実会」に入会させていただきました。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



## ■■■■ 会員の近況報告 ■■■■ (第2回)

「本会へ平成4年8月以前に入会された方々については、「楽しく充実した人生を過ごすために！ 一人材バンク」と題し、平成7年9月から9年4月まで9回にわたってこのページに掲載してきました。なぜそれ以降に入会した会員を掲載しなかったかというところ…。この「群馬菱の実会だより」を平成4年12月に発行を始め、その中に「新会員紹介」欄を設けて、その都度紹介してきたからです。

でもその時から紹介した会員も早や5年！。その人たちの、その後の様子を知りたいなどという話が出てきたこの頃です。そこでこのたび、この「会員の近況報告」をもって、平成4年12月以降に入会した会員の近況をご紹介します。

(ただし、記事による紙面スペースの都合により、毎号掲載にならないことを、前もってお断りしておきます。)

氏 名	本 人 の 一 言
小塚 幸哉 (太田市) 0276-31-7894	定年直後は体を持って余していたが、いまではカラオケ、旅行、人との交流に、そして家庭内では、二世帯住宅のなかで、それぞれの生活を楽しんでいる。今後も健康に留意して生活したい。
白井 敬郎 (太田市) 0276-38-2490	4年前から健康づくりの一環として「太極拳」を始めた。現在は地区の会員12名の代表として、お世話をしている。先日は太田市の武道館で発表会を開いた。
井口二三男 (藤岡市) 0274-23-0830	3年ほど前から藤岡北高校の代行員として、おもに土・日に月3～7日勤め、日報管理などを行っている。生徒の中には、当社藤岡工場1期生の子供たちも在籍し、親子2代のつき合いだ?!
松本 智 (太田市) 0276-25-4026	月～金曜日は会社(パソコン関連品製造)に勤め、休日は家庭菜園の手入れなど。歩け運動では、地区の協会常任理事として活動中、会でも夏は山歩きやナイトウォークなどを行っている。
穴原 保二 (桐生市) 0277-22-0862	月に20日ほどは建築会社で働いているので、その仕事と雨天の合間に、近くの山に出かける。今年は草津のコマクサも霧降高原のニッコウキスゲも、開花が例年にくらべ1ヶ月早い。
根津 一男 (大宮市) 048-667-1622	家庭では息子夫婦と同居し孫4人。我々夫婦も月1度は旅行に出かけ、海外に行くようにもなった。また大宮市シルバーセンター会員に登録し、筆耕の仕事や親睦会の世話役(会計)として活動中。

会員投稿

## 駒音高く(1)

太田市 白井敬郎

若い頃より将棋に親しみ50年、今も脳裏に浮かぶ光景がある。

昭和25年の夏、大阪梅田の繁華街で偶然見かけた将棋クラブ。外から中を見守る人垣がある。そこは2畳の指導対局席。初めて見る高級5寸盤、盛上駒、和服姿の初老のプロ棋士が、中年客相手に指導中であった。私も局面に惹き付けられ、時間の経過も忘れ観戦した。プロ棋士との接点、本格将棋との出会いである。

昭和22年、香川県から三菱電機(株)伊丹製作所に入社。同期70人程との寮生活が始まる。四国、山陰、兵庫県北部出身者で、各地の方言が飛びかう賑やかな毎日。戦後の食糧難の時代、夜になると各部屋で電熱器で飯を炊く。待ち時間に将棋が始まり、仲間が集まる。助言、待った、なんでも有り、研究会のようになり、皆で楽しむのであった。

伊電の将棋同好会に入り、先輩の指導を受ける。駒を並べ終ると、先輩がだまって大駒二枚(飛と角)を脇に置く。寮では強かったのに、二枚落ちなら負けるはずがないと力むが勝てないのである。定跡を知らない、急所がわからない、力だけでは通用しない。アマ2段の実力を知る。局後に先輩から「筋(すぢ)が良い。10年も熱心にやれば平手(対等)になる」。この一言が将棋に夢中になるきっかけとなった。

先輩に誘われ、伊丹商店街の将棋会に通い出す。商店の主人が多く、午後7時から始まる。腕自慢の強者ぞろい、容赦なく鍛えられ上達していく。寒さに震えながら終電車で帰る日も多くなる。いまでは懐かしい思い出となっている。

前述の梅田将棋クラブとの出会いはその頃である。休日を待ちかね梅田に行く。料金を払いクラブに入る。目的はプロ将棋の観戦、指導席は順次切れ目がない。常連客、有段者が多い。定跡、手筋をおぼえる。次の一手を考える。局後の解説を聞く。やがて自分でプロの感触を得たい、実力を試したい気持ちになり指導を受け出す。大駒一枚落ちで教わる。本でも研究した定跡型に進むのであるが、上手の柔軟な受けて局面が紛れ、勝負どころで間違える。急所を突く鋭さ、終盤力の差であるが、なによりも将棋の感覚、大局観が異質であった。たまには勝つことがあり(緩めてもらったのかもしれない)一局ごとに強くなる気がした。

先生の指導は、客の棋力、性格により、どのようにでも指し決して痛めつけない。接戦のようで、一手勝っている。客は残念がり、また来る気になる。

アマ3段の棋力になり、先輩を追い越す。18歳からの2年間である。Y先輩、N7段との出会いにより、基礎から本質の将棋を学べたことを感謝している。この時期に私の将棋が構成され、現在の棋力がついたと思っている。(つづく)



◆ おしらせ ◆

1. 7月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 7月20日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 8月のカラオケ月例会

- 日 時 8月3日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 7月の「囲碁」入門講座

- 講座日 7月13日(月) 午前9時30分～11時
- 会 場 体育館 余暇開発室

4. 次回の幹事会・編集委員会(会場 組合会議室)

- 幹 事 会 8月 3日(月) 午後 4時より
- 編集委員会 7月13日(月) 午前11時より

5. 夏です! 尾島まつりの「三菱ねふた」運行にご参加を(8月14・15日)

もう恒例になった尾島まつりの「三菱ねふた」運行の季節となりました。まつりを盛り上げるため、ぜひご参加を。参加できる人は7月31までに事務局までお申し込み下さい。詳しいことはその時連絡いたします。

**編 集 後 記** ● 新年度以降、編集委員会を定期的を開催するようになりました。ひとつは発行日を厳守すること、ふたつは少しでも下山編集長(?)の助けになること、最終的には内容の充実ですが、なかなか思うようにはいきません。皆さんのご協力をお願いします。

● 近頃読んだ本に「60代はヤング・オールド、70代はミドル・オールド、80代になって、やっとオールド・オールドと言うのが現代医学の常識だ。」と書いてありました。ヤング・ミドルとは嬉しいじゃありませんか。80代になったら初めて『老』として威張って下さい。 (伊 沢)

# 群馬菱の実会だより (No. 64)

平成10年度「秋の親睦旅行」お知らせ 第1弾!

## 飛騨古川・五箇山合掌集落の旅

菱の実会恒例の秋の一泊旅行については、行き先だけはすでに4月の総会にてお知らせしましたが、その他の概要を次のようにお知らせします。

ぜひ今から、皆さんの計画表の中に予定しておいて下さい。



行先 富山県  
越中庄川峡(えちゅうしやうがきょう)と  
五箇山合掌集落などの見学

日時 10月27日(火)・28日(水) 一泊二日 午前8時15分



宿泊先 簡易保険保養センター「越中庄川峡」

合掌造りの集落は、中部地方を中心に数箇所あるようですが、今回の旅行では、それらのうちのひとつである五箇山の合掌集落を訪ねてみます。(午前11時より)

なお、参加費用やコース、募集方法などについては、来月号にてお知らせします。

ファンヒーター生産繁忙期を迎え

**臨時社員募集中!!**

今年も馬電は石油ファンヒーターの生産繁忙期を迎え、臨時社員の募集を新聞への折り込み広告などで行っております。

つきましては、菱の実会会員の皆さんならびに皆さんのご家族、ご親戚、お知り合いの方などで働いてみようという方はいらっしゃいませんか?

働きたいという方がいらっしゃいましたら、下記に電話をお願いいたします。

[連絡先: 勤労課 (☎0276-52-1114) 担当: 柳内、中島]

8月14・15日の尾島まつりにおける

「三菱ねふた」運行のため、まつり参加者募集中!

出席できる方は、至急事務局まで連絡願います。(両日あるいはどちらか1日)

**新会員紹介** **熊沢 勉さん** (平成10年3月31日定年)

住所 新田町中江田 58-19

☎0276-56-3480

昭和32年4月、長野県塩尻市より、名古屋市にあった家庭電器工場に入社。夏の暑さは異常で夜は眠れませんでした。職場は工具設計でした。

その後、菱電機器、群馬製作所、相模製作所、北関東支社と渡り歩き、41年間の会社生活にピリオドをうちましたが、上司、先輩、取引先をはじめ、多くの皆さんのお力添えで業務を無事遂行できましたことを心より感謝申し上げます。

職歴では工具設計18年、工作5年、資材13年、営業5年。相電時代10年余りは単身赴任で健康管理には非常に気を使いました。

今後のことはこれから考えていきたいと思いますが、健康維持第一に考え、好きなことや地域のためになることをして、第二の人生を充実させたい。

このたび「菱の実会」に入会させていただきました。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

**青木 次雄さん** (平成10年7月15日定年)

住所 太田市浜町 54-25

☎0276-45-7866

昭和34年10月、高崎の総合職業訓練所工場実習のため、6ヶ月間当所にお世話になり、卒業と同時に菱電機器に入社。

以来、2工場の組立、第6工場品質管理、菱電印刷出向、温水器と、現場と間接を約半々位に任務を果たしてまいりました。長い間ご指導ありがとうございました。

これから新たな道を歩き始めると同時に、菱の実会に入会させていただきましたが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

**9月より 新たに 囲碁愛好会 が発足します**

昨年スタートした囲碁講習会はほぼ目標を達し、7月で終了しました。

そこで今後は「囲碁愛好会」として運営いたします。囲碁の好きな方なら、どなたでも自由にご参加下さい。

またこの機会に、白井敬郎さんに師匠格として、来ていただくことになりましたので、ご期待下さい。

なお開催は、月1回(原則として第2月曜日・午前中)とし、会費は不要です。

第1回開催は 9月13日(月)9:30~11:30 余暇開発室(体育館内) です。

会員投稿

## 駒音高く(2)

太田市 白井敬郎

やがて仕事が忙しくなる。囲碁、マージャンを覚える。ギャンブルを始める。趣味、娯楽の多様化。そして将棋クラブがパチンコ店に変わる。時代の流れ、環境の変化により、将棋から少し遠ざかるのであった。

昭和41年、馬電に転勤が決まる。これを機に趣味は将棋、囲碁だけにする。ギャンブルは卒業と決め、実行した。

群馬での新しい棋友との交流が始まる。趣味の友は楽しくありがたいものである。土地の風習、社会を学び、生活行動が広がる。「趣味は人生を豊かにする」とは定年後実感している昨今である。

群馬県には日本将棋連盟の支部20。会員800名を越す将棋の盛んなところだ。太田支部は会員130名の県内一の大所帯。新聞社、連盟主催の各種アマ棋戦、地区予選、市民大会、文化祭など、年間8回ほどの将棋大会の開催。他支部との交流、会員相互の親睦会などの活動を行っている。

私も副支部長の立場で、会の運営、将棋大会のお世話、後進の育成など、お役に立てばと思っている。今年はシニア県大会で優勝し、目標であった3連覇を達成。そして京都での全国大会で3位に入賞した。さらに次の目標に向かって頑張りたいと思う。

さてプロの将棋界に目を向け、時代の流れを書いてみたいと思う。

すべての棋士のあこがれの名人位。慶長年間の第一世名人大橋宗桂以来、300年の歴史を持つが、昭和10年、家元一代制から実力制に変わった。

実力名人木村義雄(8期)は戦前無敵の強さ。打倒木村そして名人位箱根越えは関西棋界の悲願であった。やがて関西期待の升田幸三、大山康晴の台頭により、戦後将棋の幕が開く。升田は戦後南方から幅員、次々と新戦法を編み出し、将棋戦術に革命的な変革をもたらした。将棋ファンの熱烈な応援を受けた人気棋士だった。

戦後名人位獲得棋士9人。通算5期以上獲得すれば、引退後世代名人を名乗る制度である。

大山15世名人(18期)、中原誠(15期)、谷川浩司(5期)の3人であり、一時代を制覇した棋士である。

(つづく)



## ◆ おしらせ ◆

1. 第12回(夏季)グラウンドゴルフ大会

上記大会を次のように開きます。今月は大会ですから申込みが必要です。なお8/13~20までは夏季休暇中のため、申込みはなるべく12日(水)迄にお願いします。

- 日 時 8月24日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- 会 費 500円(当日徴収) ●申 込 8月21日(金)までに事務局へ
- その他 ①賞品あり ②小雨決行、雨天順延

2. 9月のカラオケ月例会

- 日 時 9月7日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 9月のボランティア活動

- 日 時 9月5日(土) 午前8時15分 ●集 合 三菱労組 会議室
- 内 容 ひとり暮らし老人宅の樹木の枝落とし

4. 次回の幹事会・編集委員会(会場 組合会議室)

- 幹 事 会 9月 7日(月) 午後 4時より
- 編 集 委 員 会 8月10日(月) 午前11時より

3月20日、近藤真澄さんが77歳の誕生日(喜寿)を迎えましたので、菱の実会から彼花束をお贈りしました。(菱の実会だよりに記載することを失念してしまい、申し訳けありませんでした。遅くなりましたがお知らせいたします)

編 集 後 記 ● 今年から編集委員の端に加えていただきました。何が出来るか自分でもわかりませんが、周囲を一層注視してとにかく頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

● そこで早速入会后1年あまりの会報を見直してみました。編集後記には季節ごとの変化、状況などがよく著わされていて感銘しています。

● 8月に入ると、暦の上ではすぐに立秋となりますが、暑さは本番です。健康管理には一層気をつけたいと思っています。 (長谷川)

発行

発行責任者 斎藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

1998-8-3 No.64

編集「菱の実会だより」編集委員会

電話 0276-52-3874

# 群馬菱の実会だより (No. 65)

菱の実会親睦旅行 参加者募集!

## 飛騨古川・五箇山 合掌集落の旅



菱の実会の恒例行事、秋の親睦旅行の時期となりました。

すでに先月号でも掲載しましたが、今回の旅行は「飛騨古川・五箇山合掌集落の旅」です。あらためて次のように旅行内容をお知らせしますので、万障繰り合わせの上、ぜひ参加下さるようご案内申し上げます。(なお、返信用はがきを同封しますので、参加・不参加にかかわらず、9月30日(水)までに事務局へ返送願います。)

1. 期 日 平成10年10月27日(火)・28日(水) 一泊二日
2. 集 合 馬電内 労組前に 午前7時20分まで
3. 宿泊先 簡易保険保養センター「**越中庄川峡**(いっちゅうしょうがきょう)」  
〒932-0371 富山県東砺波郡利賀村下原 218 ☎0763-82-5665
4. コース 労組前 == JR本庄駅前 == 本庄児玉IC == <関越道・上信越  
7:30 8:10  
道・長野道> == 松本IC == 安曇野 == 飛騨古川まつり会館  
(昼食) (見学) 15:30~16:10  
== 越中庄川峡(泊)  
17:30頃着  
宿泊先 == 五箇山合掌集落 == 砺波IC == <北陸道・(途  
8:30発 9:10~11:00  
中、マス寿司工場で昼食) 関越道> == 本庄児玉IC == 労組前  
19:00頃着
5. 参加費 20,000円(直行者は10,000円)
6. その他 (1)参加者部屋割り、その他の詳細は当日のバスの中で渡します。  
(2)自宅には事務局および宿泊先の住所、電話番号のメモを忘れずに。  
(3)不明の点は菱の実会事務局(☎0276-52-3874)までお問い合わせを。

## 第12回(夏季)グラウンドゴルフ大会

ホールインワン3本も! 茂木 忠さん 優勝!

第12回(夏季)グラウンドゴルフ大会は、8月24日(月)いつものように利根グラウンドゴルフ場で開いた。

当日は29人が出場したが、菱の実会会員は日頃の練習量と旺盛な研究心から、今回もハイレベルな闘いとなり、参加者の半数14人がアンダーパープレイ、ホールインワンは9人(12本)が出した。

とくに茂木 忠さんは3コースともホールインワンを出すという快挙を達成、スコア57(ハンデキャップ3を含む)

と驚異的な成績で優勝を飾った。

準優勝は長谷川哲男さん(スコア59)、第3位はホールインワンを2本出した大竹照雄さん(スコア65)でした。



## 新会員紹介

新島 政三さん(平成8年10月20日定年)

住所 新田町木崎 150-7

☎0276-56-0422

昭和34年、菱電機器へ入社以来、プレス、小形温水器、ジャー炊飯器の試作から生産ライン立ち上げ、特殊電熱器、協力会社の吉田製作所へ3年間の出向など、現場第一線を経験し、馬電に29年間。

昭和63年に本社ビル事業部ビル施設工事部へ転勤、平成8年10月20日付で定年を迎えると同時に協力会社である菱電エレベーター施設株式会社本社に入社、平成8年12月1日より三菱電機東関東支社昇降機工事課へ出向し、平成10年3月3月26日付で退職、39年間の長い会社生活を無事終了することができました。

特に本社在職中の会社生活最後の10年6ヶ月間は単身赴任でありましたが、仕事を通じて社内外の皆様と公私にわたり接する機会を得たこと、また寮生活でも多くの人々と出会い、多くの良き友を得ることができましたことは大きな財産であると思います。これも皆様方のご指導とご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

今後は自然界に目を向け、自然界に親しみ、健康に留意し、充実した日々を送りたいと思います。

このたびは菱の実会に入会させていただきましたので、ご指導のほどよろしく願いいたします。



会員投稿

## 駒音高く(3)

太田市 白井 敬 郎

将棋界の制度を見ると、プロ四段からが棋士と呼ばれ(対局料がもらえる)、C組2組に編入され、A組八段まで5段階あり、順位戦を戦う。名人戦のみA組10人で挑戦者を決める。他のタイトル戦は四段でも勝ち上がれば、タイトルを取れる。順位戦参加120人のほかに、フリークラス、女流棋士がある。

昭和60年代に入り、将棋界を揺るがす子供旋風が吹く。羽生善治、佐藤康光、森内俊之、村山 聖らの10代棋士が、タイトル保持者、歴代名人を次々と破っていく。彼らはチャイルド・ブランド(超新人類)と呼ばれた。テレビ将棋対局で歴代名人が新四段に負ける。面目は潰される、おじさま棋士は「子供とだけはやりたくない」心境だという。

羽生は棋士になり、毎年昇段の勢いでA級に入り、その年挑戦者になり、名人位を獲得する。平成8年2月、谷川王将からタイトルを取り七冠王を達成、全タイトル独占は永遠不滅の記録といわれている。

将棋ファンで歌人の、俵 万智さんは「紙ひとえ、否、神ひとえ、それゆえに負けぬ男を羽生と呼ぶなり」とその偉業をたたえた。

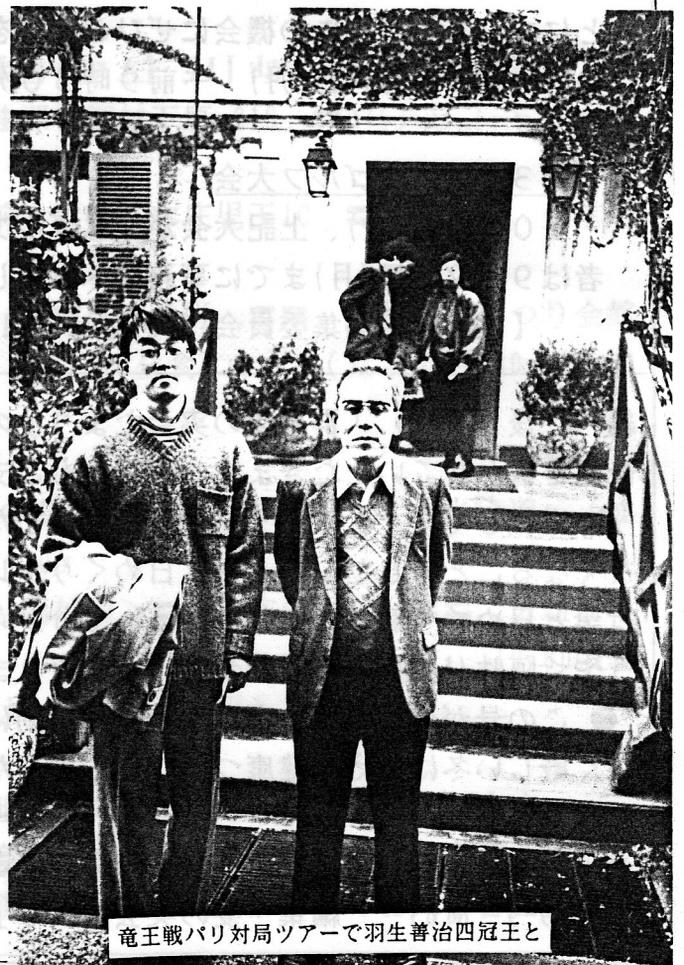
昭和の棋士と平成の棋士とでは、将棋に対する考え方、姿勢に大きな違いがあるといわれている。50歳名人誕生で、時の人となった米長九段は、将棋は「全人間的勝負」と考え、人間的修業や人生経験が勝負に大きな影響を持つとする。

羽生は将棋と人生は別、将棋を「頭脳スポーツ」とみる。盤上のみ勝負はあると考える。盤上での読み、研究、大局観だけが勝負を決するというのだ。昭和と平成の相異なる主義と思想の戦い。時代の流れとはいえ、少しさびしい気がする。

今年、気になる棋士が2人いる。A級順位戦5勝4敗で、不運にも降級(B組一組)になり、フリークラス転出を決めた米長九段。林葉直子との不倫問題でダメージを受けた中原永世十段。どちらも昭和を代表する棋士、今年の将棋内容と動向が注目される。

谷川、羽生を軸に棋界は動いていく。二人の秘術を尽くした名勝負を待ち望んでいる。(おわり)

(本欄への投稿をお待ちします。自薦、他薦を問わず希望者は事務局までご連絡下さい。…編集委員会…)



竜王戦パリ対局ツアーで羽生善治四冠王と

◆ おしらせ ◆

1. 9月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 9月28日(月) 午前9時より
- 会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

近藤真澄さんは、かねてより入院中でしたが、9月8日早朝、ご逝去されました。ご冥福をお祈りするとともに、お知らせいたします。

2. 10月のカラオケ月例会

- 日 時 10月5日(月) 午後5時より
- 会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 10月のボランティア活動

尾島町びっころ福祉作業所での作業応援です。

- 期 日 10月12日(月)～15日(木)および19日(月)～22日(木) 午後1時～3時  
(参加は期日内のいずれか1日で結構です。)
- 集 合 現地(びっころ福祉作業所)へ午後1時までに
- 内 容 ボールペンの組立、包装。ホッチキス針の包装など

4. 9月の囲碁愛好会

1年間に渡った囲碁初心者講習会が終了し、新たに囲碁愛好会として発足することになりました。この機会にぜひご参加を!

- 日 時 9月14日(月) 午前9時30分より
- 会 場 体育館 余暇開発室

5. 第3回菱馬会ゴルフ大会

10月9日(金)、上記大会が鳳凰ゴルフ倶楽部(太田市)で開かれます。参加希望者は9月21日(月)までに事務局へお申し込み願います。

【次回の 編集委員会 9/21(月) 午前11時より 幹事会 10/5(月) 午後4時より】

編集後記 ●「群馬菱の実会だより」の編集委員を仰せつかりましたので、編集後記を書かせていただきます。今後ともご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。

●退職して早くも1年5ヶ月となりました。一番困ったことは、日と曜日が分からなくなることでした。トイレに日めくりカレンダーを下げることにしましたが、最初は妻と日めくり競争となり、かえって分からなくなることもありました。この頃ようやく阿吽(あうん)の呼吸が合うようになりました。

●この号が皆様が届く頃は、読書や運動によい爽やかな秋がくることでしょう。近づく厳しい冬に備えて健康づくりをしてください。(増田)

発行

発行責任者 斎藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

1998-9-9 No.65

編集「菱の実会だより」編集委員会

電話 0276-52-3874

# 群馬菱の実会だより (No. 66)

第13回 秋の親睦旅行

10月27日(火)・28日(水)

## 飛騨古川・五箇山合掌集落の旅

いよいよまじかに 会員41名が参加

今年も菱の実会秋の親睦旅行の時期となりました。

行先は「飛騨古川・五箇山合掌集落」の旅です。すでに先月号で参加者を募りましたが、その結果、会員41名の申し込みをいただきました。参加者名は別掲(次ページ)の通りですから、申し込み者は確認願います。

秋の親睦旅行は、菱の実会年間行事の中でもっとも大きい行事のひとつです。

ふだんはなかなか会うことのできない会員も多いのですから、この機会に、バスの中で、そしてホテルで、ぜひ会員同志の懇親を深めながら、この旅行を楽しんでいただきたいと思ひます。

1. 期 日 平成10年10月27日(火)・28日(水) 一泊二日
2. 集 合 会社内 労組前に 午前7時20分まで  
(JR本庄駅前に集合する人には別途連絡いたします)
3. 宿泊先 簡易保険保養センター「越中庄川峡(えちゅうしょうがわきょう)」  
〒932-0371 富山県東砺波郡利賀村下原 218 ☎0763-82-5665
5. 参加費 20,000円

### 6. 参加する方へ

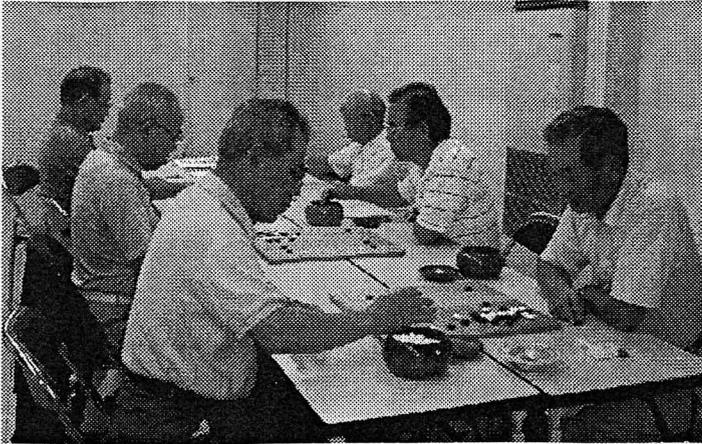
- (1) 会社前に集合する方の駐車場は、会社構内の東堀際です。当日は案内係がいますが、駐車スペースの都合から、なるべく乗り合わせで参加願います。
- (2) 参加者部屋割り、その他の詳細は当日のバスの中で渡します。
- (3) 参加費は当日のバスの中で徴収します。
- (4) 宿泊先および事務局(☎0276-52-3876)

の住所、電話番号などについて、ご家族へのメモを忘れずに。



いよいよ始動 第1回 囲碁愛好会 開催さる

昨年6月から始まった、初心者のための「囲碁入門講座」も今年7月に終了し、9月から、あらたに上記「囲碁愛好会」として発足しました。



その第1回の囲碁愛好会を、さる9月14日(月)、馬電体育館内の余暇開発室で開催しました。

仲間づくりに、そして頭(脳)の活性化をはかり、ゆとりある人生を過ごすための一助に、あなたもぜひご参加ください。(毎月1回第2月曜日に開催の予定です)

新会員紹介 田端 虎吉さん (平成10年9月20日定年)

住所 尾島町前島 84-1 ☎0276-52-3922

昭和37年9月21日、菱電機器に入社。

以来、資材管理係を始まりに、16回の職場移動を経て、平成10年9月20日定年となりました。

振り返ってみると、どの職場も便利屋的存在でしかなかった。

定年を節目に、子供の頃の夢を追って、楽しく過ごそうと思えます。

このたび、菱の実会の入会の機会を得て、入会することになりました。諸先輩方のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



第13回 秋の親睦旅行(飛騨古川・五箇山合掌集落の旅) 参加者名

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1 日比野 秀雄  | 12 中村 啓二  | 23 大島 恭亮  | 34 富岡 保夫 |
| 2 高橋 光雄   | 13 加藤 悟   | 24 白井 敬郎  | 35 村川 忍  |
| 3 斎藤 慶蔵   | 14 関口 宏   | 25 井口 二三男 | 36 村岡 勉  |
| 4 対比地 誠二郎 | 15 加藤 勝司  | 26 松本 智   | 37 荒木 勲  |
| 5 佐藤 邦夫   | 16 沢村 政雄  | 27 穴原 保二  | 38 東条 孝雄 |
| 6 金子 吉男   | 17 糸井 功   | 28 茂木 弥市  | 39 根岸 昇  |
| 7 永沼 進    | 18 富宇賀 昇  | 29 伊沢 昭一郎 | 40 中村 富家 |
| 8 首藤 敬一   | 19 蜂須 茂   | 30 茂木 鶴次  | 41 佐藤 勇  |
| 9 中村 健三   | 20 長谷川 哲男 | 31 田部井 米司 |          |
| 10 茂木 忠   | 21 竹沢 由光  | 32 増田 三郎  |          |
| 11 穴倉 周作  | 22 戸谷 尚   | 33 田部井 秀夫 |          |

会員投稿

## 書と私(1)

太田市 永沼 進

私が、書道としての書を習うようになったのは、昭和31年、当時宝酒造労働組合の文化部担当の執行委員をしていた時でした。

文化部の活動として書道部を作ろうということになり、先生には、尾島町の安養寺に良い先生がいる聞き、お願いしました。週1回来ていただくことになり、部員を募集、50名くらいで発足、私もその時から師事し現在に至ったわけです。

当時は、役目柄率先して部員になったことで、今の私、人に教えることなど考えてもいませんでした。当然その頃は、書道界のことなど何も知りませんし、先生のこと也不知道でした。先生についてから、本を見たりするうちに、島田先生の書歴を知り、この辺には稀な先生であることがわかり、今にしてみればその好運な出会いに感謝の念でいっぱいです。

先生は、昭和16年、当時無住の荒れ寺だった安養寺に、東京の根岸から住職として就任。東京時代に書を吉田苞竹先生に師事、先生逝去により松井如流先生に師事、篆刻は石井隻石先生に師事。

たどってみれば、日下部鳴鶴(天保9年～大正11年：85歳)→吉田苞竹(明治23年～昭和15年：51歳)→松井如流(明治33年～昭和63年：89歳)→島田芝香(大正3年～現在：85歳)となり、日本書道界・近代書道における一流人脈の流れといっても過言ではない先生です。ですから昔流に、流派でいえば、私たちは「鳴鶴流」ということになります。

なにしろ、50名からの生徒、学校を出てから筆などは持ったことはない、初めての人ばかりですから、楷書の基本からお願いしたところ、点・横画・縦画・とめ・はね・折れ・左払い・右払いと、まったくの初歩から教えていただきました。

その時からの弟子は、現在3、4名になってしまいましたが、今ではお蔭でそれぞれ後進の指導にあたっています。

最近、また稽古ごとがさかんですが、当時は戦後10年、やっとどうにか生活にゆとりができ、趣味を持とうという気運になった時だったのでしょうか。組合が主導して文化活動も盛んになり、運動部では卓球、庭球、野球部などができた時代でした。絵画部もあり、私は絵画部と書道部に入っていました。(つづく)



◆ おしらせ ◆

1. 10月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 10月19日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 当日は「尾訶老人会グラウンドゴルフ大会」予備日になっています。もしこの大会が開催された場合、当会は翌日になりますが、その時は連絡いたします。

2. 11月のカラオケ月例会

- 日 時 11月2日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 10月の囲碁愛好会

- 日 時 10月12日(月) 午前9時30分より ●会 場 体育館 余暇開発室

4. 組合の新役員紹介

今年は組合役員の改選期(任期は2年)にあたり、8月16日から新年度役員が次のように決まりましたのでお知らせします。

委員長 森田 茂(留任・専従) 執行委員 米田 守(新任・非専)  
 副委員長 田村 真史(新任・非専) 執行委員 長島 泰昭(新任・非専)  
 書記長 対比地弘志(留任・専従) 執行委員 伊藤 勝啓(新任・非専)

なお、前任の福島副委員長、脇坂、関、佐藤各執行委員は、それぞれ今までの職場で、職務に専念することになりました。

5. 次回の幹事会・編集委員会(場所 組合会議室)

【 幹事会 11月2日(月)午後4時から 編集委員会 別途連絡 】

編集後記 ● 今年、梅雨から天候不順のまま秋へと移り、うっとうしい毎日がずっと続いているといった日々でした。そして各地に記録的な集中豪雨等、この異常気象はどうしたことでしょうか。

● 私の家では、いま秋雨の中、萩が咲いている下に、紫陽花が見ごろといった、何んとも不思議な玄関先の光景です。来る冬が思いやられます。(永沼)

# 群馬菱の実会だより (No. 67)

第13回 秋の親睦旅行

行ってきました！

## 飛騨古川・五箇山合掌集落の旅

菱の実会発足以来、毎年続けてきたメイン行事の親睦旅行も13回目を迎え、今年  
は10月27・28日「飛騨古川・五箇山合掌集落の旅」に行ってきました。

参加は会員36名、会社・事務局から3名の合計39名でした。

今回は、今までの旅行にくらべ距離が長いので、例年よりも早い朝7時30分の出発の予定でしたが、早い人は組合事務所を開けた午前6時50分には、すでに入口で待機している参加者もいました。

バスの中では、久しぶりに会った会員も多く、世間話や互いの身の回りのことで話が弾み、賑やかなひとときを過ごしました。



各地の見学などを終え、今夜の宿泊予定「かんぼの宿 越中庄川峡」へ向う途中でちょっとしたアクシデントが起きました(?)。

飛騨古川のまつり会館を見学後、道順を確認すべく、ガイドさんが駐車場係の人に「しょうがわ(庄川峡のつもりで…)はどちらでしょうか」と訪ねたら「しょうがわ(荘川町があったんです)は、あちらへ」と教えてもらった方向が、なんと庄川峡とは逆の方向でした。(しゃべり言葉と、書き言葉の差デシタ)

結局、宿への到着は1時間近くも遅れ、その後の入浴そして宴会は急ピッチで進行せざるを得ませんでした。



でも翌朝はもうスッキリ(上の記念写真を、目を凝らして見るとみんながすがすがしい顔をしているのがわかります?)、400年の歴史を持つ合掌づくり集落などを見学後、帰りは北陸道、関越道と高速自動車道を利用し、全員無事に到着、また来年の旅行での再会を誓い合い、それぞれ帰路につきました。

## 菱の実会会員 町の「生涯学習」で 活躍！

尾島町では「ひとり、1学習、1スポーツ、1ボランティア」をスローガンに、すべての町民を対象として生涯学習活動を推進しています。

基本的には、各地区に設けられた生涯学習推進委員を中心として、活動を進めていますが、この委員として各地区在住の菱の実会会員が活躍しています。

そして、その活動の状況などが「生涯学習だより」に掲載され、各戸に配布されますが、たまたま10月に発行された第17号にも、次の3人の寄稿文が載っていました。

「生涯学習に想う」 副会長 金子吉男さん

「書道を始めて」 備前島書道会 首藤敬一さん

「趣味を通して人々の和」 粕川 茂木鶴次さん

そこで、スペースの都合から以下に首藤さんの記事のみを紹介してみたいと思います。(なお、区長や民生委員をはじめ、町の各種役職に就いて、大勢の菱の実会会員が活躍していることを申し添えます。)

### 書道を始めて

備前島書道会 首藤敬一

文化の香り高いまちづくりと、心豊かな、そして甲斐ある人生を過ごすため生涯学習のまちをモットーとして生涯学習に取り組んでいる町の先導のおかげで、近頃、各地とも立派な成果を挙げております。

遅ればせながら我が地区でも、昨年7月より、書道教室を開催させていただきました。講師は私の会社当時の知人である対比地誠二郎先生です。月に4回(毎週水曜日)の学習を始めました。

私もまさに60の手習いであり、最初は不安や戸惑いもありましたが12名の会員一同に支えられて何となく学習することにしました。基本を習い、住所氏名、ひらがなに移り、般若心経を経て、現在は千字文の楷書と草書に取り組んで熱心に習っております。

昨年は生涯学習作品展に色紙の作品を出品しましたが、今年も現在、作品展への出品準備を進めています。

書道教室から始まった墨への魅力。墨の芸術に魅せられて1カ年を経過したいま、大きな喜びと感動にひたっております。そして和気あいあいの中に学べるよろこびをかみしめております。本当の意味での「生涯教育」が分かって来たように思われます。



会員投稿

## 書と私 (2)

太田市 永沼 進

小学生の頃から運動は不得手で、学校行事で運動会は楽しみだったという人が多い中で、私は運動会の時期になると憂うつで、かけりっこは小1、小2の時は出ましたが、小3からは、その時になるとさぼってかけたことがありませんでした。

家の者、近所の人が、応援に見に来ているのに、びりっけつの方ではどうにもたまらないことでした。さいわい、プログラム、時間の関係で、1人くらい居なくてもわからず、どんどん進行してしまい、先生にも、みんなにも不参加を気づかれたり、とがめられたりしませんでした。

当時、1等賞はノート、3等以下は鉛筆1本がいただけました。運動会が終って帰りがけに、先生が1本、私にだけそうっと呉れました。

今でいえば文化祭でしょうか、当時、展覧会があり、大人は農産物などの品評会と同時に、生徒の習字と図画が飾られました。これは私の楽しみな行事で、良い作品には金・銀が貼られ、私の作品にも金や銀がいつも貼られ、銀のときはがっかりしたものです。戦後、定時制高校ができ、早速入学。太高大時制27年卒ですが、選択課目の絵と書では、楽しみながら単位が取れたのが思い出されます。

楷書の基本が終って、古法帖の中から智永の真草千字文を習い、競書誌は名前が「書法」から「書声」にかわり、現在に至っています。かって定時制高校の恩師の教えの中に「何かひとつのことに10年打ち込んで見よ。自分のものを持つことは人生に非常にプラスになる」との言葉がありました。先生自身も専門の外に油絵をやり、ろうけつ染めは帯や着物まで手掛けるほどで、近所の娘や奥様に教えていました。

私の書も、この言葉を実感として味わっている今日この頃です。

しかし、これまで続けられたのも、良い環境に恵まれた、の一言につきると思います。

その第一は何んといっても島田先生という良い師に恵まれたことです。

(つづく)



作品を制作中の永沼さん

◆ おしらせ ◆

予告！ 12月12日(土)に組合主催「そば打ち」講習会を開きます。講師は小山 始さん。詳しくは12月号をご覧の上、至急申し込みを。

1. 第13回(秋季)グラウンドゴルフ大会

上記大会を次のように開きます。今月は大会ですから申し込みが必要です。

- 日 時 11月23日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- 会 費 500円(当日徴収) ●申 込 11月18日(水)までに事務局へ
- その他 ①賞品あり ②小雨決行、雨天順延

2. 12月のカラオケ月例会

- 日 時 12月7日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 11月の囲碁愛好会

- 日 時 11月9日(月) 午前9時30分より ●会 場 体育館 余暇開発室

4. 組合主催 尾島町史跡めぐり

自分たちの町をもっと知って愛着を持とう!と計画しました。ぜひご参加を。

- 日 時 11月14日(土) 9時~15時 ●会 費 500円(弁当、拝観料)
- コース 会社周辺、縁切寺満徳寺、東照宮周辺(申込、その他詳細は事務局へ)

5. 次回の幹事会・編集委員会(会場 組合会議室)

- 幹 事 会 12月7日(月) 午後4時より
- 編集委員会 上記幹事会の時、打ち合せにより決定。(別途連絡)

編 集 後 記 ● 10月27日・28日の両日、秋の親睦旅行に行ってきました。

今回の行き先は越中庄川峡で、見どころは飛驒古川、五箇山合掌集落等でした。会員36名、会社から伊藤部長、庶務課岩松さん、事務局の下山さんを加え、総勢39名でした。

● 幸い、天候にも恵まれ、和気あいあいのうちに無事終了することができました。

残念なのは直前に不参加が出て、参加者がやゝ少なくなったことです。来年はぜひ多くの方々の参加をお願いします。(伊沢)

# 群馬菱の実会だより (No. 68)

第13回(秋季)グラウンドゴルフ大会

## 茂木 忠さん 初の連続優勝!

11月23日(月) 参加者35名で開催

第13回(秋季)グラウンドゴルフ大会は、さる11月23日(月：勤労感謝の日)にいつもの利根グラウンドゴルフ場で、いままでの大会、月例会においてもかつてない35名の参加者のもとで開催しました。

当日は朝のうちは曇り空ながらも、まもなく太陽も顔をのぞかせ、風も吹かず絶好の大会日和となり、白熱のゲームを展開した結果、いずれも同スコア64で、優勝：茂木 忠さん（ハチキャップ6を含む）、準優勝：田部井秀夫さん、第3位：竹沢由光さんでした。

なお、ホールインワン達成者は7人（8本）でした。



▲ 優勝した茂木さん(右)と準優勝の田部井さん(左)



▶ 大会参加者一同

### 至急のおしらせ

- 恒例の年末特別社内分譲は、ゲストホールにて12月10日(木)～16日(水)に実施されます。(ただし展示即売は10日昼休み、定時後、11日昼休みのみ)
- 組合・菱馬会共催「手打ちそば」講座開催  
12月12日(土)午前10時～午後1時に食堂1階で、「手打ちそば」講座を開きます。会費300円、講師は小山 始さんです。希望者は11日までに事務局へ。

新会員紹介 加藤 武雄さん (平成10年10月15日定年)

住所 太田市東新町 219 ☎0276-25-0470

このたび、10月15日付けで三菱電機を無事定年退職し、菱の実会に入会させていただくことになりました。

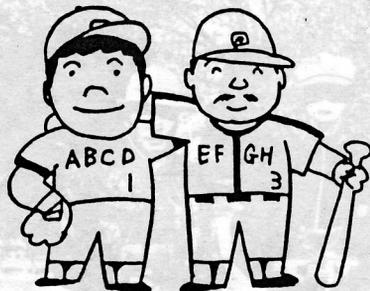
昭和35年(1960年)、当時の菱電機器に入社し、以来38年間、大過なく勤めることができましたことは、上司、諸先輩の方々のご指導、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

この間、公私にわたって多くの貴重な体験をさせていただき今日を迎えられ、大変幸せなことと心から喜んでおります。



仕事では東乾矢板への出向の3年間、遊びではマラソンソフトボールの成功が、非常に強く心に残っております。

60歳までの残り3年間、三菱電機ロジスティクス(旧菱電運輸)のお世話になり、現役として過ごす所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



井野 文人さん (平成10年10月31日定年)

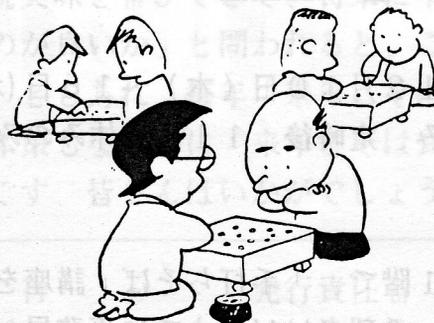
住所 太田市由良町 721-3 ☎0276-32-1615

10月31日、定年まで3年半を残して退職しました。

38年半に及ぶ在職中にはさまざまな出会いと沢山の思い出があり、簡単に語り尽くすことなど到底できるものではありません。

特に菱の実会の諸先輩には入社以来、さまざまな「時・所」でご指導いただき、今日を迎え得たものとあらためて感謝申し上げます。

ささやかながら自分の信念に従い、人や社会とかかわりながら今日まで歩むことができたことをうれしく思っています。今後は「草の根」市民運動に積極参加し、人間、とりわけ老人や子供等「弱者」が大切にされる社会をめざして微力ながら、全力投球でがんばります。



なお、現役として行動しなければなりませんので、保証の限りではありませんが「囲碁」や「ハイキング」等の企画にはぜひとも参加したいです。若輩者に対するご指導をよろしく願います。

会員投稿

## 書と私 (3)

太田市 永 沼 進

顧みると、あつかましくも楷書もろくに身につかないうちに、行書そして草書、はては隷書を、仮名をと、いま思えば厚顔の至りで、次々と勝手に教えを乞い、また篆刻をやってみたいといえど印材まで用意をしていただくなど、筆、硯、墨、紙にいたるまで、当時は参考書や入門書も少なく入手し難かったので、すべて先生から教えていただいたものです。

何によらず道を極めるということは奥深く遠いものですが、書道もその通りで、書跡名品叢刊を見てもその膨大なのに驚きます。楷、行、草といっても各書体の中に数多くの古典、法帖があり、隷書にも古隸、八分、木簡。篆書にしても大篆、小篆、石鼓文、また多くの古典ありで、その極まるどころがありません。

私はこのところ、展覧会出品作には金文、甲骨文、刻石文などを基調として、自分では草篆とか狂篆といって書いています。最近では展覧会でちらほら見られるようになりました。

習い始めて3年で県展に初出品、それから東京書道展にも出品。島田先生門下では10名近くが各展覧会に出品するようになってきたので、当時の先生のおもな教室が尾島公民館、尾島町役場、宝酒造などのクラブだったので、それぞれ教室は別でも諸行事は一緒に、そして先生を会長にひとつの会を作ろうということになり、いまの「幽蘭書会」ができ、その初代理事長に私が選ばれました。以来毎年1回会員展を開催、今年9月に28回展が終わったところですから28年前、私が42歳の時でした。

当時は作品の搬入・搬出を自分たちで行い、東京展出品には上野美術館まで持っていったものでした。いまでは作品を書いて送れば表装から何まで金さえ出せば、業者がやってくれるので、大変楽になりました。

現在会員は、公募展では毎日展、東方展、県展、県教育展、東京展。会員展では幽蘭書会展を始め、各市町(太田市、新田町、尾島町、境町)の文化展に出品、書道を通して各地域文化の向上に活躍しています。

幽蘭書会ができて10年、1期2年の理事長を再度引き受けたのは52歳の時でした。そしてまた昨年、私としては3回目の理事長を受けることになり、現在その2年目、70歳になりました。

いまはあっちこっち5つの教室で、大人ばかり計30名ほどが私を待っていてくれるといった書とのかかわりです。(つづく)



## ◆ おしらせ ◆

1. 12月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 12月21日(月) 午前9時より
- 会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 平成11年1月のカラオケ月例会

- 日 時 1月11日(月) 午後5時より
- 会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(首藤敬一さん: ☎0276-52-0878)まで

3. 12月の囲碁愛好会

- 日 時 12月14日(月) 午前9時30分より
- 会 場 体育館 余暇開発室

4. 菱馬会主催「しめなわ」づくり講習会

今年も講師に萩原百三さん(菱の実会員)を迎え、次のように「しめなわ」づくり講習会を開きます。ぜひご参加のほどを。

- 日 時 12月23日(水)午後5時15分
- 会 費 500円(当日徴収)
- 会 場 体育館 余暇開発室
- 申 込 12月18日(金)までに事務局へ

5. 次回の幹事会・編集委員会(会場 組合会議室)

- 幹事会 1月14日(月)午後4時より
- 編集委員会 12月21日(月)午前11時より

編集後記 ●早いもので、1998年(平成10年)もとうとう師走となってしまいました。振り返ると今年もまたいろいろな事件があり、異常気象による被害あり、数えれば切りがなく、いまだに尾を引いている問題も多くあります。

●特に景気の低迷は日1日と深刻さを増し、我々によからぬ各種の制度改定も段々と現実味を帯びてきて、将来に不安を感じるのは私だけでしょうか。そこで「どうなるのが良いか」と問われると、これまた難しい時世でなかなか結論が出せません。

●ともあれ、毎年「来年こそは」と反省はしてみるものの好転した事無し。何の具体策もないのに「来年こそは良い年にしたい」と虫の良いことを考えているのも現実です。皆さんはいかががでしょうか。よい年にしたいものですね。(長谷川)